

# LIXIL フーゴR/ネスカR ミニ・レギュラー 基本・縦連棟・M合掌・Y合掌 取付説明書

- このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
  - この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためのものです。
- 表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容（指示）にしたがってください。

この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

## ▲注意

- 取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

## お願い

- 取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。



- 守っていただきないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。

## 補足

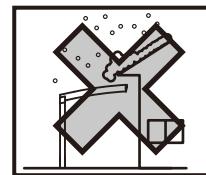
- 説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

※製品破損、倒壊による人への危害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。

## <施工の前に>

### ▲注意

- 製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。
- 当製品は簡易型車庫です。物置・遊び場あるいは住居の一部等への転用を目的として、みだりに改造・変更をしないでください。
- 積雪（新雪）20cm（600N/m<sup>2</sup>）を超えない地域に設置してください。
- 建物の屋根から落雪を直接受けない位置に設置してください。
- 強風地域、特に崖上、屋上、風の通り道上等の施工は避けてください。
- 給湯器や暖房機等の熱排気が製品内にこもるような場所に施工しないでください。  
排気による中毒のおそれがあります。
- 傾斜地に設置する場合は、低い場所の埋込み深さを確保してください。
- 一つの現場で同時に異なるサイズを施工する場合は、本来の製品性能を保持するために、部材を間違えないように確認をしてから施工を行なってください。



## お願い

- 正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
- 梱包明細表で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。
- 給湯器や暖房機等の熱排気が製品に当たらないように施工してください。排気による塗装劣化・剥離のおそれがあります。
- 施工場所に寸法的に正しく納まるかどうか確認してください。

## <基礎工事について>

### ！注意

- ・寒冷地で凍上するおそれのある地域で使用する場合は、凍上線の下まで基礎を設けてください。強度低下の原因になります。
- ・柱内の水抜きができるよう、基礎には必ず碎石を敷き、柱と基礎の付け根に水抜き穴（φ6）をあけてください。  
柱内の水が凍結膨張し、柱が破損するおそれがあります。
- ・モルタルやコンクリートには、塩分を含む砂(海砂)および塩素系強アルカリのコンクリート用混和材(凍結防止剤、凝固促進剤、急結剤等)は使用しないでください。  
使用するとアルミ等の金属が腐食する原因になります。必要な場合は非塩素系や非アルカリ系の混和剤をご使用ください。

### お願い

- ・モルタルやコンクリート等が製品の表面に付着した場合は、速やかに拭取ってください。  
シミやムラ等の外観不良の原因になります。

## <施工上のご注意>

### ！注意

- ・「使用上の注意」ラベルを貼っている柱に堅樋を取付けると、表示が見えなくなり、正しく注意を促すことができなくなります。  
堅樋を取付けない側に使用してください。
- ・アルミ製品が亜鉛、ステンレス以外の金属と接触する場合は、絶縁処理をしてください。
- ・製品の改造や、指定箇所以外の穴加工はしないでください。
- ・水濡れのおそれがありますので、指定の箇所にシーリングをしてください。
- ・シリコーンシーリング材を使用する場合は、ポリカーボネート板のひび割れ等のおそれがあるので、当社指定の脱アルコール系シーリング材を使用してください。
- ・製品の強度低下、またはケガの原因になりますので、ボルト、ネジは弊社純正品の規定本数を使い、下記の推奨締付けトルクで固定した後にゆるみがないか確認してください。  
※φ4ネジ：2.5N·m±0.5N·m (25±5kgf·cm)      ※M8ボルト：20.0N·m±0.5N·m (200±5kgf·cm)  
※φ5ネジ：3.0N·m±0.5N·m (30±5kgf·cm)

シーリング材メーカー	品名および品番
信越化学工業(株)	シーラント72
モメンティブ・パフォーマンス・マテリアルズ・ジャパン(合)	トスシール380
東レ・ダウコーニング(株)	SE960

### お願い

- ・施工工事にあたっては、安全に施工を行なってください。  
※作業服および保護具(保護帽、安全帯、眼、手、足の保護具)を正しく使用してください。
- ・作業場所の整理整頓を行なうとともに、安全確保を行なってください。  
特に高所作業での安全確保、倒壊防止、照明による照度の確保など。
- ・器具、工具、保護具などの機能を確認し、使用してください。
- ・作業は、相互の作業と各作業工程を考慮して進めてください。免許、技能講習、特別教育が必要な作業は、有資格者が行なってください。
- ・作業者が相互に安全確認を行なってください。健康状態を十分に確認し、健康管理を実施してください。
- ・万が一、事故が発生した際には、直ちに手当を行ない、救助を第一に心がけてください。
- ・製品について汚れは取除き、誤ってキズをつけた場合は、補修塗料で補修してください。

## <施工の後に>

### ！注意

- ・ボルト、ネジを増し締めしてください。ただし、緩み止め付きボルトは、硬化前に増し締めしてください。

### お願い

- ・取扱説明書は施主様にお渡しください。

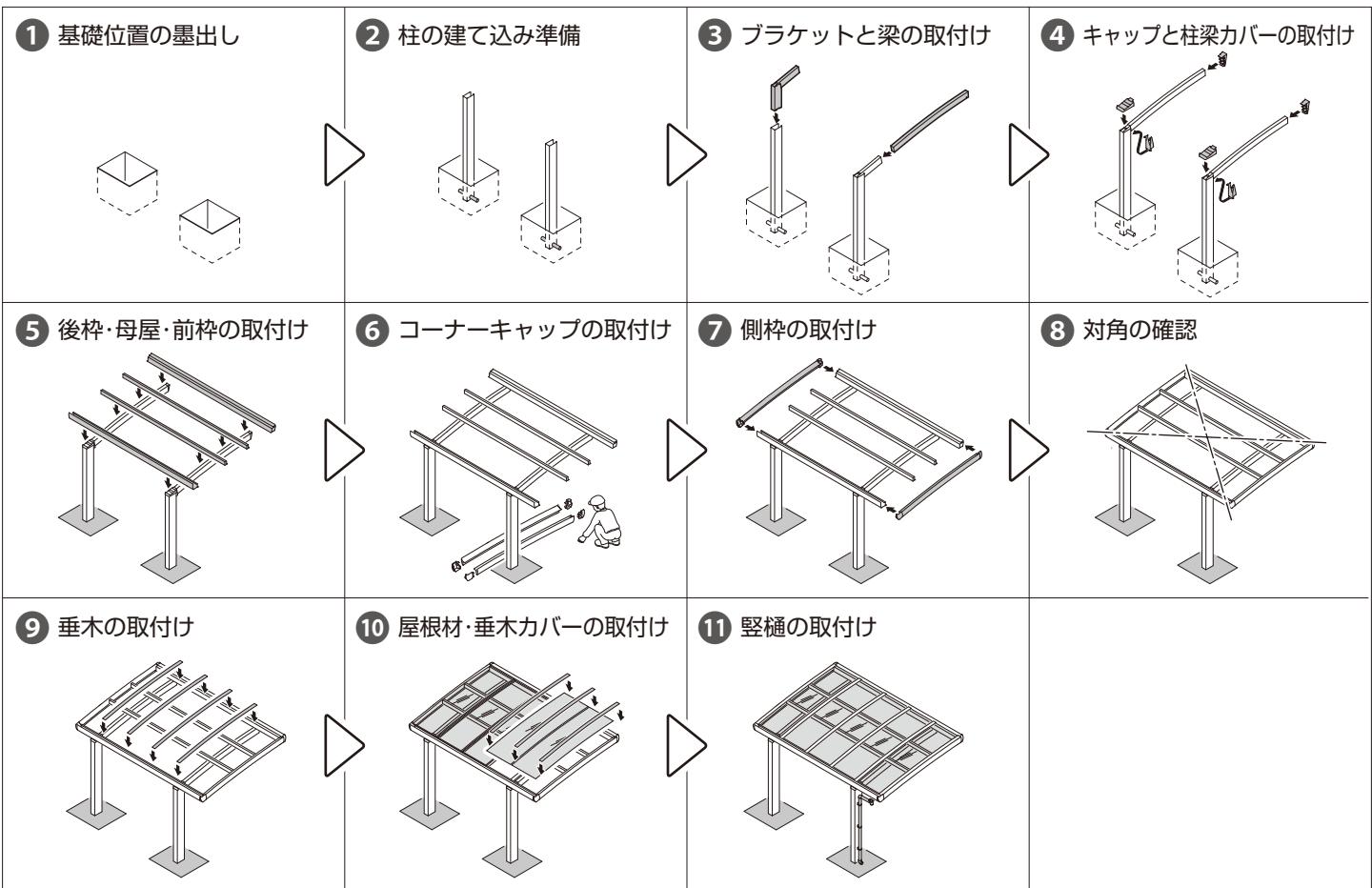
# INDEX

表示マーク	3	縦連棟タイプの施工	19
施工の流れ	3	■ 縦連棟 (L22・L29) の確認事項	19
梱包明細表	4	■ 縦連棟 (L36~57) の確認事項	21
各部の名称	8	■ 14延長の確認事項	22
基本タイプの施工	9	1 連結部の加工	23
■ 基本の確認事項	9	2 部材の取付け	25
1 基礎寸法の確認	10		
2 柱の建て込み準備	10		
3 柱、梁の組立て	11		
4 部材の加工	12		
5 母屋・後枠の取付け	14		
6 前枠の取付け	14		
7 側枠の取付け	15		
8 対角寸法の確認	16		
9 垂木の取付け	16		
10 屋根材の取付け	17		
11 側枠カバー・垂木カバーの取付け	17		
12 竪樋の取付け	18		

## 表示マーク



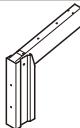
## 施工の流れ



# 梱包明細表

※施工の前に梱包明細表で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。

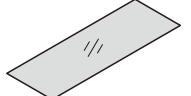
[1] 柱セット		員数	
名称	略図	1本入	2本入
柱		1	2

[2] ブラケットセット		員数	
名称	略図	1本入	2本入
ブラケット		1	2

[3] 梁セット		員数	
名称	略図	1本入	2本入
梁		1	2

[4] 長さセット		員数					
名称	略図	W18~21		W24~27		W30	
		L22・29	L36・43	L14	L50・54・57	L14	L50・54・57
前枠		1	1	1	1	1	1
後枠		1	1	1	1	1	1
母屋		2	2	3	3	4	4
堅樋φ 40 L=3500		—	1	—	1	—	1

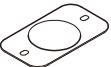
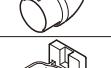
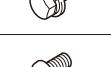
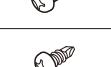
[5] 幅セット		員数					
名称	略図	2本入	3本入	4本入	5本入	6本入	7本入
側枠		左右各1	左右各1	左右各1	左右各1	左右各1	左右各1
側枠カバー		2	2	2	2	2	2
垂木		2	3	4	5	6	7
垂木カバー		2	3	4	5	6	7

[6] 屋根材セット		員数			
名称	略図	1枚入	2枚入	3枚入	4枚入
屋根材		1	2	3	4

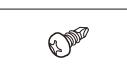
[7] 部品セット (フーゴ)		員数							
名称	略図	W18・21		W24・27			W30		
		L22・29	L36~50	L14	L50	L54・57	L14	L50	L54・57
前枠コーナーキャップ R [部品番号] YBA-460R		1	1	—	1	1	—	1	1
前枠コーナーキャップ L [部品番号] YBA-460L		1	1	—	1	1	—	1	1
後枠コーナーキャップ R [部品番号] YBA-464R		1	1	—	1	1	—	1	1
後枠コーナーキャップ L [部品番号] YBA-464L		1	1	—	1	1	—	1	1
梁キャップ		2	2	1	2	2	1	2	2
柱キャップ		2	2	1	2	2	1	2	2
柱梁カバー		2	2	1	2	2	1	2	2

【7】部品セット（フーゴ）（つづき）		員数							
名称	略図	W18・21		W24・27			W30		
		L22・29	L36～50	L14	L50	L54・57	L14	L50	L54・57
アンカー棒 Φ8×200		2	2	1	2	2	1	2	2
穴隠しシール Φ10		16	16	10	20	20	12	24	24
雨樋アタッチメント		1	1	1	1	1	1	1	1
雨樋穴塞ぎキャップ		1	1	1	1	1	1	1	1
雨樋パッキン		2	2	2	2	2	2	2	2
ドレンエルボ Φ40用		1	1	1	1	1	1	1	1
92°エルボ Φ40用		2	2	2	2	2	2	2	2
でんでん		3	3	3	3	3	3	3	3
接着剤		1	1	1	1	1	1	1	1
パネル緩衝材		8	16	8	24	24	8	32	32
【7-1】M8×20六角ボルト (平座金・緩み止め付き)		14	14	7	14	14	7	14	14
【7-2】Φ5×12 トラスタッピンネジ3種		186	186	70	230	254	79	258	285
【7-3】Φ4×13 ナベドリルネジ		3	3	3	3	3	3	3	3
取付説明書(D587)	—	1	1	—	1	1	—	1	1
取扱説明書(UD125)	—	1	1	—	1	1	—	1	1

【7】部品セット（ネスカ）		員数							
名称	略図	W18・21		W24・27			W30		
		L22・29	L36～50	L14	L50	L54・57	L14	L50	L54・57
前枠コーナーキャップR [部品番号] YBA-460R		1	1	—	1	1	—	1	1
前枠コーナーキャップL [部品番号] YBA-460L		1	1	—	1	1	—	1	1
後枠コーナーキャップR [部品番号] YBA-464R		1	1	—	1	1	—	1	1
後枠コーナーキャップL [部品番号] YBA-464L		1	1	—	1	1	—	1	1
梁キャップ		2	2	1	2	2	1	2	2
柱キャップ		2	2	1	2	2	1	2	2
柱梁カバー		2	2	1	2	2	1	2	2
アンカー棒 Φ8×200		2	2	1	2	2	1	2	2

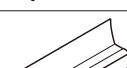
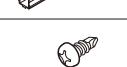
【7】部品セット（ネスカ）（つづき）		員数							
名称	略図	W18・21		W24・27			W30		
		L22・29	L36～50	L14	L50	L54・57	L14	L50	L54・57
穴隠しシール φ10		16	16	10	20	20	12	24	24
雨樋アタッチメント		1	1	1	1	1	1	1	1
雨樋穴塞ぎキャップ		1	1	1	1	1	1	1	1
雨樋パッキン		2	2	2	2	2	2	2	2
ドレンエルボ φ40用		1	1	1	1	1	1	1	1
92°エルボ φ40用		2	2	2	2	2	2	2	2
でんでん		3	3	3	3	3	3	3	3
接着剤		1	1	1	1	1	1	1	1
パネル緩衝材		8	16	8	24	24	8	32	32
【7-1】M8×20六角ボルト (平座金・緩み止め付き)		14	14	7	14	14	7	14	14
【7-2】φ5×12 トラスタッピンネジ3種		122	122	48	150	159	61	194	209
【7-3】φ4×13 ナベドリルネジ		3	3	3	3	3	3	3	3
取付説明書(D587)	—	1	1	—	1	1	—	1	1
取扱説明書(UD125)	—	1	1	—	1	1	—	1	1

【8】豎樋セット（オプション）		員数	
名称	略図	L=3100	L=1000
豎樋 φ40		1	1

【9】柱移動補強材セット（オプション）		員数	
名称	略図	員数	
母屋補強材 (L=2000)		1	
【9-1】φ5×13 ナベドリルネジ		4	

【10】柱移動用部品セット（オプション）		員数	
名称	略図	員数	
直線ジョイナー (φ40)		1	—
直線ジョイナー (φ60)		1	—
ワイド棟木補強材		—	1
【10-1】φ5×13 ナベドリルネジ		8	1

【11】母屋補強材セット（オプション）		員数	
名称	略図	員数	
母屋補強材 (L=1500)		2	
【11-1】φ5×13 ナベドリルネジ			8

【12】連棟部材セット（オプション）		員数		
名称	略図	W18～21	W24～27	W30
前棟スリーブ		1	1	1
後棟スリーブ		1	1	1
母屋スリーブ		2	3	4
【12-1】φ4×13 ナベドリルネジ		35	44	52

【13】連棟幅セット（オプション）		員数						
名称	略図	2本入	3本入	4本入	5本入	6本入	7本入	8本入
垂木		2	3	4	5	6	7	8
垂木カバー		2	3	4	5	6	7	8

【14】M合掌部品セット(オプション)		員数				
名称	略図	L22・29	L36~50	L54・57	L14	
M合掌 梁連結金具R用		4	4	4	2	
M合掌 端部キャップR用		2	2	2	-	
M合掌 固定金具R用		3	4	5	-	
梁スペーサー		8	8	8	4	
【14-1】M8×80 六角ボルト		8	8	8	4	
【14-2】M8 六角セルフロックナット		8	8	8	4	
【14-3】 M8用平座金		16	16	16	8	
【14-4】Φ4×13 ナベドリルネジ		3	4	5	-	
【14-5】Φ4×20 トラスタッピンネジ2種		4	4	4	-	

【18】Y合掌連棟部品セット(オプション)		員数
名称	略図	員数
MY合掌連棟カバーR用		1
Y合掌連棟用取付金具R用		1
【18-1】Φ4×13ナベドリルネジ		4

【19】ドレンエルボセット(オプション)		員数
名称	略図	員数
ドレンエルボ Φ40用		1

【20】エルボセット(オプション)		員数
名称	略図	員数
92°エルボ Φ40用		1

【15】MY合掌棟木セット(オプション)		員数
名称	略図	員数
M-Y合掌棟木		1

【21】でんでんセット(オプション)		員数
名称	略図	員数
でんでん		2
【21-1】Φ4×13 ナベドリルネジ		2

【16】M合掌連棟部品セット(オプション)		員数
名称	略図	員数
MY合掌連棟カバーR用		1
M合掌連棟用取付金具R用		1
【16-1】Φ4×13ナベドリルネジ		4

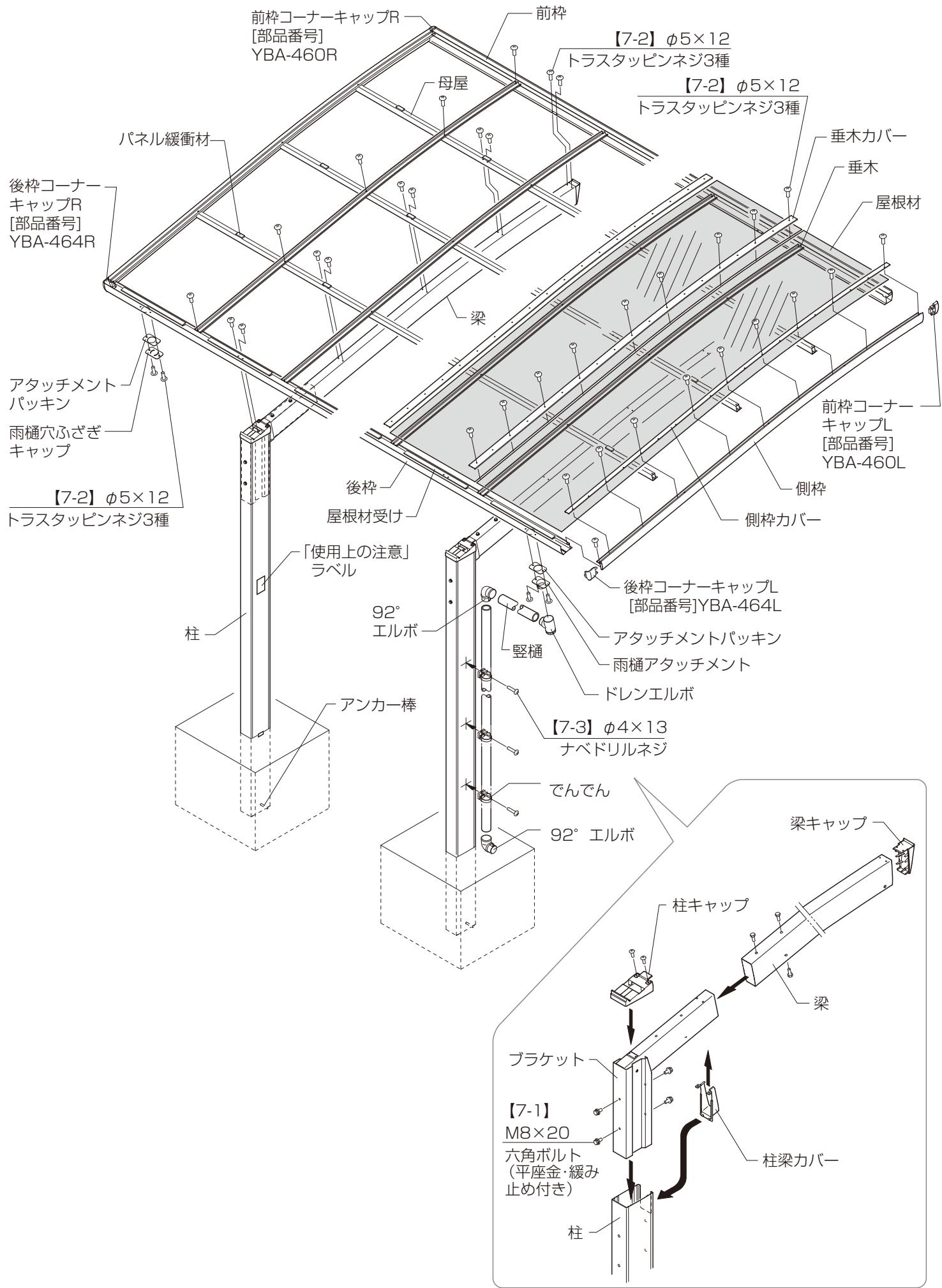
【22】アタッチメントセット(オプション)		員数
名称	略図	員数
雨樋アタッチメント		1
雨樋穴塞ぎキャップ		1
雨樋パッキン		2
【22-1】Φ5×12 トラスタッピンネジ3種		4

【17】Y合掌部品セット(オプション)		員数			
名称	略図	L22・29	L36~50	L54・57	L14
Y合掌 端部キャップR用		2	2	2	-
Y合掌 固定金具R用		3	4	5	-
Y合掌用 柱連結金具		2	2	2	1
【17-1】Φ4×13 ナベドリルネジ		3	4	5	-
【17-2】Φ4×20 トラスタッピンネジ2種		4	4	4	-

【24】パネル緩衝材セット(オプション)		員数
名称	略図	員数
パネル緩衝材		8

【23】屋根材ホルダーセット(オプション)		員数					
名称	略図	ミニ		レギュラー		共通	
		L22	L29	L50	L54	L57	L14
パネル抜け防止材		3	4	7	8	8	2
屋根材ホルダースペーサー		4	4	4	4	4	-
【23-1】Φ5×13ナベドリルネジ		17	17	26	26	26	9
屋根材ホルダー取付説明書(D614)	-	1	1	1	1	1	1

# 各部の名称



# 基本タイプの施工

## ■ 基本の確認事項

### □ 姿図

#### ！注意



【柱移動】をした場合は  
柱芯々寸法±100mm以内で柱移動をしてください。



【柱内側移動】をした場合は  
片側300mm以内で柱移動をしてください。  
(W24~W30で施工可能です。)



【縦連棟】【M合掌】の基礎寸法は、P.10および対応したページも併せて参照してください。

【Y合掌】の基礎寸法は対応したページを参照してください。

### お願い

- 構造計算書を添付して建築確認申請を行なっている場合、構造計算書の基礎寸法で施工してください。
- 柱内の水が抜けるように必ず碎石を敷いてください。

### 補足

印は【柱移動】範囲を示します。

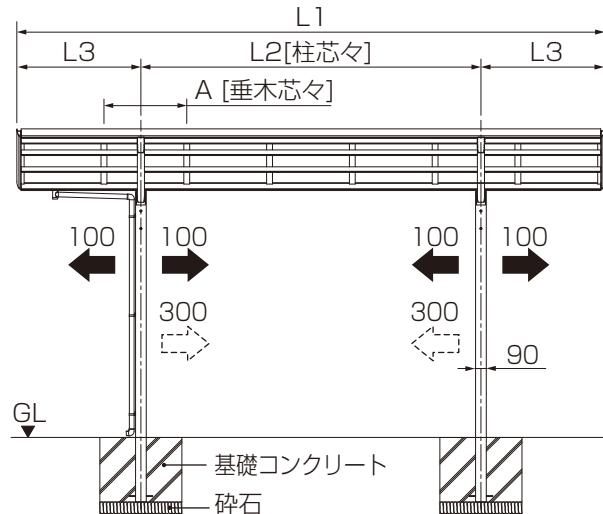
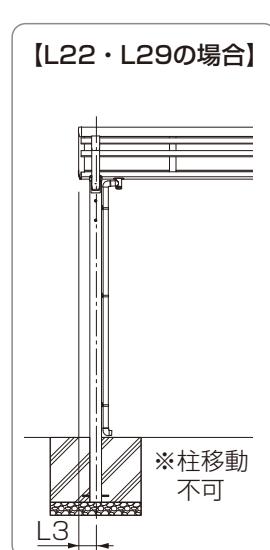
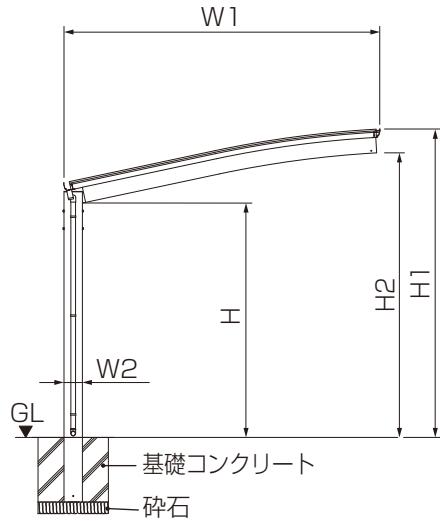
印は【柱内側移動】範囲を示します。  
(フーゴのみ)

#### 【ロング柱の場合】

W18~W21=H寸法に+608してください。  
W24~W30=H寸法に+300してください。

#### 【H28柱の場合】

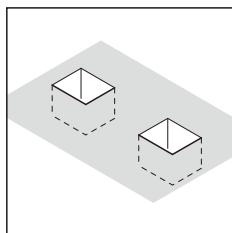
W18~W21=H寸法に+908してください。  
W24~W30=H寸法に+600してください。



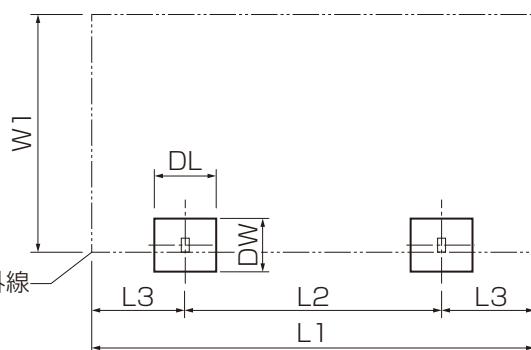
サイズ(間口)	W1	W2	H	H1	H2
ミニ	W18	1801	132	1903	2326
	W21	2101	132	1903	2390
レギュラー	W24	2400	158	2196	2768
	W25	2551	158	2196	2800
	W27	2701	158	2196	2832
	W30	2999	160	2196	2976

サイズ(奥行)	L1	L2	L3	A
ミニ	L22	2156	1894	131
	L29	2862	2600	131
ミニ/レギュラー	L36	3568	2100	734
	L43	4274	2500	887
	L50	4980	2900	1040
	L54	5382	3100	1141
レギュラー	L57	5686	3300	668
				706

### □ 基礎の墨出し



①柱の埋込み位置を出して、基礎穴を掘ってください。



下記のオプションを取付ける場合は、対応した取付説明書を併せて参照してください。

#### 【カーポートライト】

「エスコートスポットライト 取付説明書 (Z542)」  
「カーポートライト用台座セット 取付説明書 (Z545)」

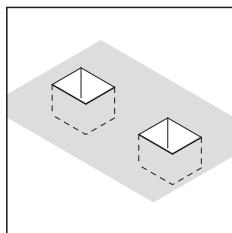
#### 【コンセントフレーム】

「コンセントフレーム 取付説明書 (D499)」

### 補足

基礎寸法 (DH/DW/DL) は、P.10を参照してください。

# 1 基礎寸法の確認



**縦連棟** **M合掌** 【縦連棟】も本ページの基礎寸法を参照してください。  
【M合掌】も本ページの基礎寸法を参照してください。

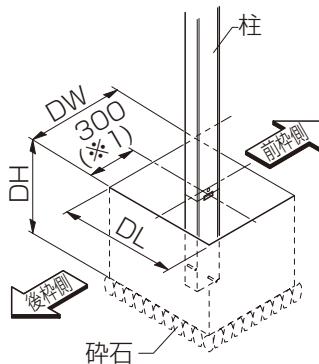
①基礎穴寸法を確認してください。

フーゴ	独立基礎サイズ			土間コン基礎サイズ		
	サイズ	DW	DL	DH	DW	DL
W18	600	500	500	400	300	500
W21	600	550	500	400	300	500
W24	900	700	550	400	350	550
W25	900	700	550	400	350	550
W27	900	700	550	400	350	550
W30	1100	700	550	450	450	550

ネスカ	独立基礎サイズ			土間コン基礎サイズ		
	サイズ	DW	DL	DH	DW	DL
W18	600	400	500	400	300	500
W21	600	400	500	400	300	500
W24	700	600	550	350	300	550
W25	700	600	550	350	300	550
W27	700	600	550	350	300	550
W30	800	700	550	370	370	550



【独立基礎仕上げ】の場合

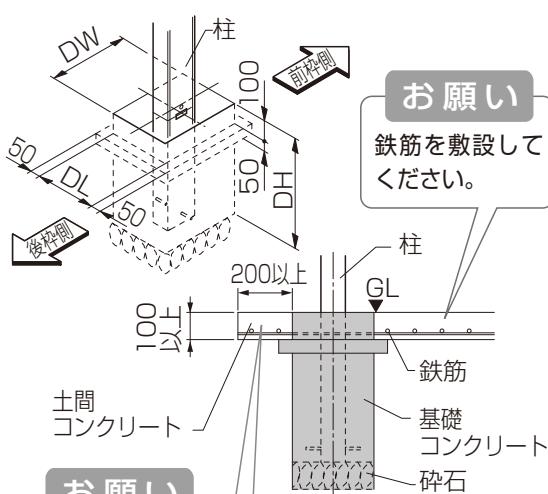


## 補足

(※1) は柱芯から柱背面側の基礎端面までの寸法です。



【土間コンクリート仕上げ】の場合

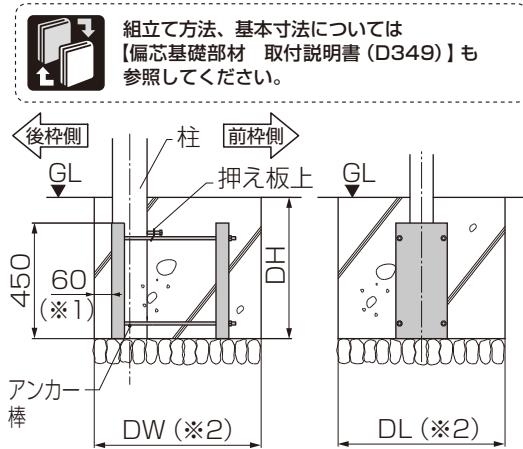


## お願い

基礎上面と土間コンクリートの縁端距離は200mm以上になるようにしてください。



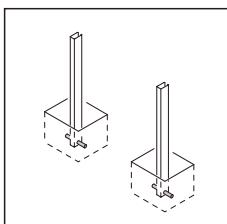
【偏芯基礎部材】を取付ける場合



## 補足

※1はタテ材Aの外面から基礎端面の寸法です。  
※2は独立基礎の基礎寸法と同じになります。

# 2 柱の建て込み準備

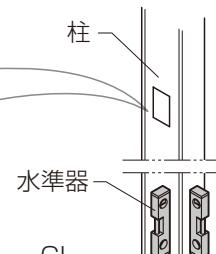


- アンカー棒を柱に差込んでください。
- 柱のG.L.付近(地上側)にφ6水抜き穴をあけてください。

## お願い

### 【柱を建てこむ際は】

「使用上の注意」  
ラベルが、豊橋でかくれないよう柱を建込んでください。

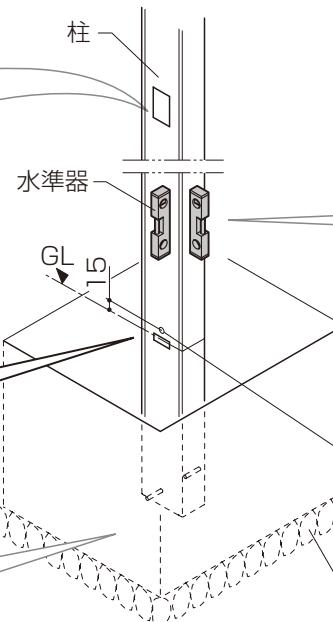
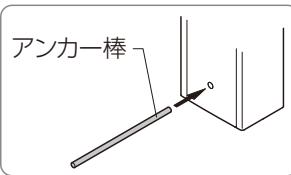


## お願い

柱の垂直を確認してください。

## ！注意

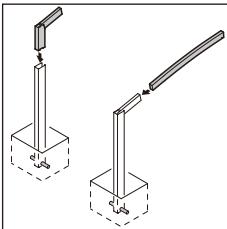
水抜き穴をあけないと、柱が破損するおそれがあります。



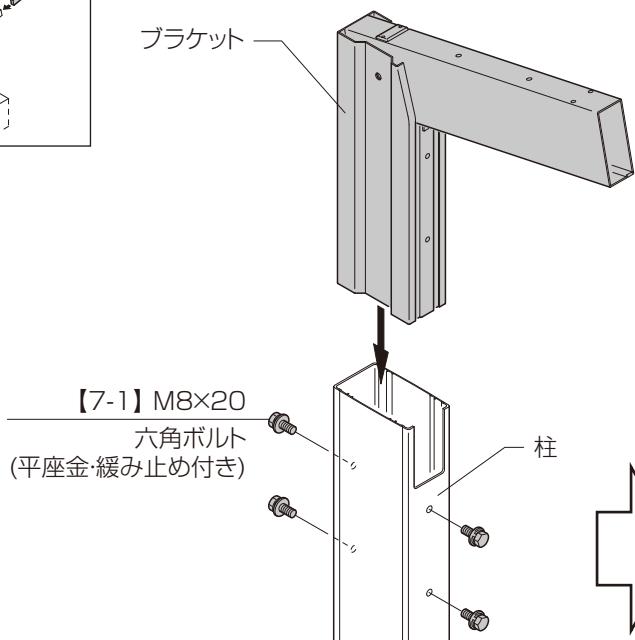
φ6  
水抜き穴  
碎石

### 3 柱、梁の組立て

#### 1 ブラケットと梁の取付け



- ① ブラケットを柱に差込み【7-1】で取付けてください。
- ② 梁をブラケットに差込み【7-1】で取付けてください。



【Y合掌】の場合は、P.31も事前に確認してください。



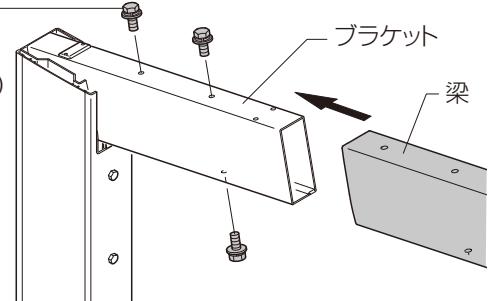
下記のオプションを取付ける場合は、対応した取付説明書を併せて参照してください。  
【物干しセット】  
「物干しセット 取付説明書 (D610)」  
【軀体取付材】  
「カーポート軀体付け部材 取付説明書 (D615)」

#### お願い

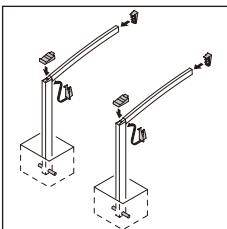
緩み止め硬化後にボルトを「緩めたり、締めたり」しないでください。緩みやすくなる場合があります。  
(締付け後、約24時間で硬化します。)

【7-1】 M8×20

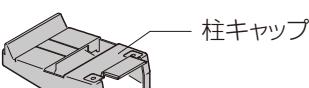
六角ボルト  
(平座金・緩み止め付き)



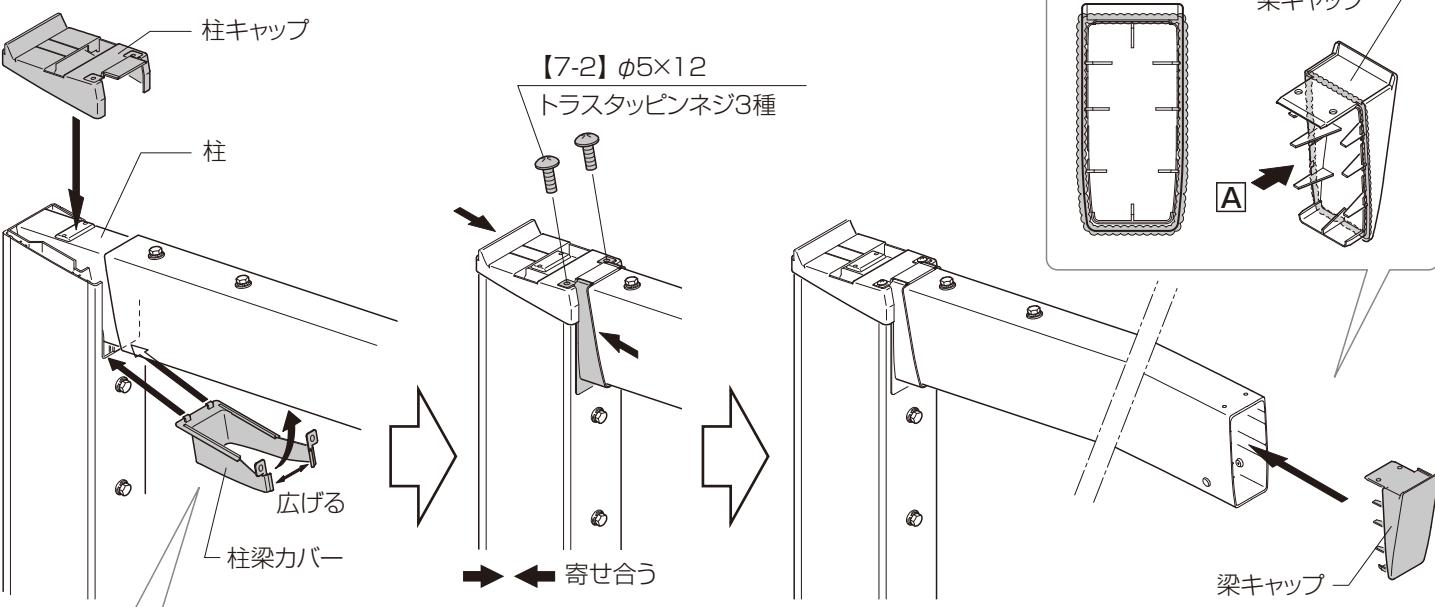
#### 2 柱キャップ・柱梁力バーの取付け



- M合掌 P.28  
【M合掌】の場合は、P.28も事前に確認してください。

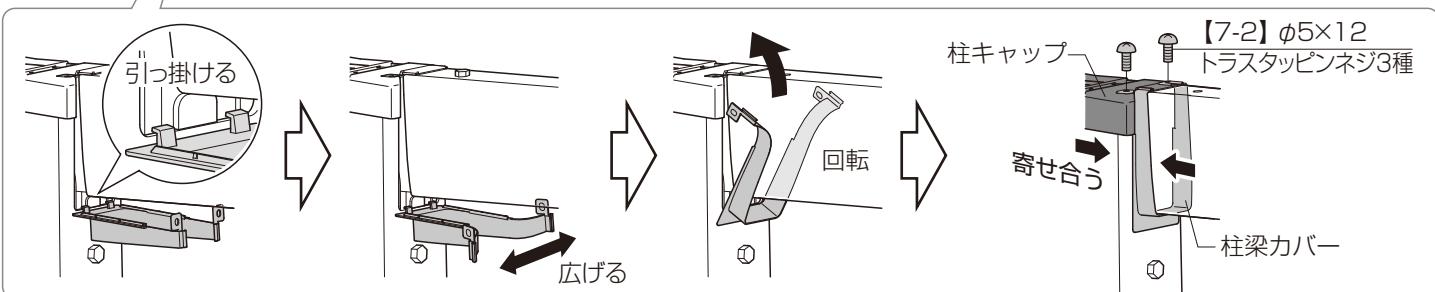


- ① 柱キャップを柱にはめ込んでください。
- ② 柱梁力バーを柱の切欠き部にはめ込んでください。
- ③ 柱梁力バーを柱キャップに【7-2】で取付けてください。
- ④ 梁キャップにシーリング剤を充填し、梁に梁キャップをはめ込んでください。



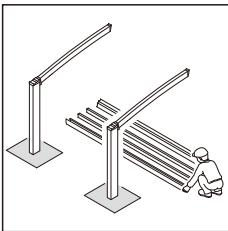
#### 補足

この段階では、柱キャップ・柱梁力バーは多少ガタつきます。



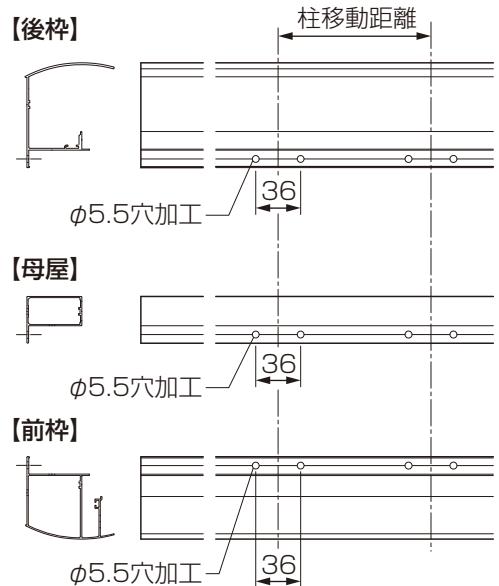
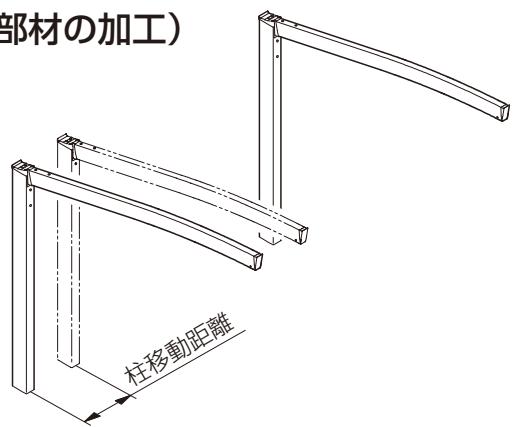
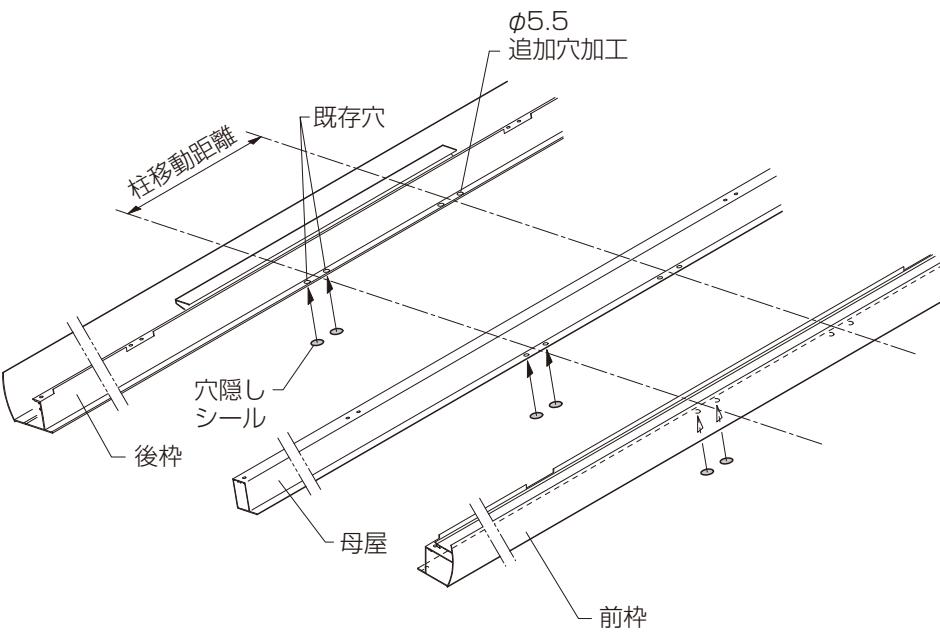
## 4 部材の加工

### □ 柱移動、柱内側移動の場合（移動した柱、梁へ取付ける部材の加工）

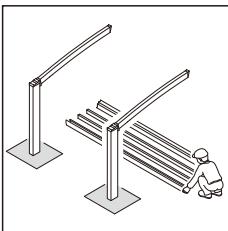


【柱移動】  
【柱内側移動】 の場合の作業です。

- ①部材に穴加工を行なってください。
- ②既存穴に穴隠しシールを貼り付けてください。



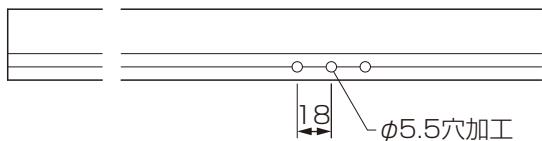
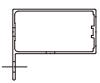
### □ 柱内側移動：耐風圧の場合（追加補強ネジ用の穴加工）



【柱内側移動】で 【耐風圧】 の場合の作業です。

- ①部材に穴加工を行なってください。

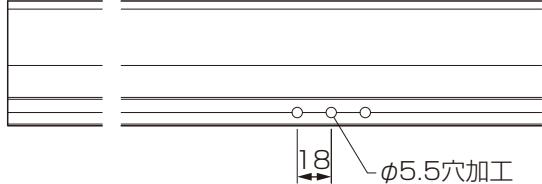
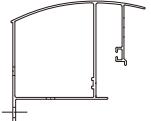
【母屋】



**お願い**

すべての母屋に穴加工してください。

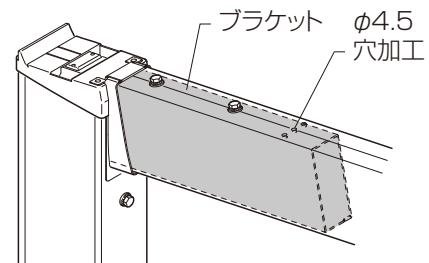
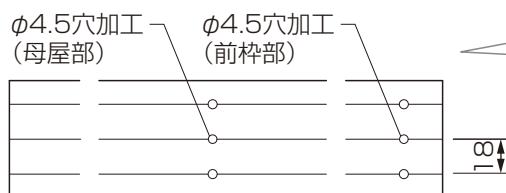
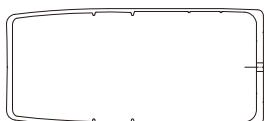
【前枠】



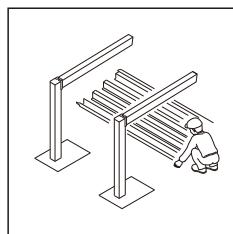
**お願い**

【W24】・【W30】の場合は、  
ブラケットにもφ4.5の下穴をあけてください。

【梁】



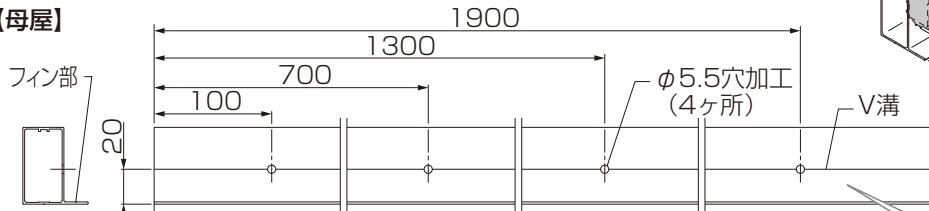
## □ 柱内側移動の場合（母屋補強材の取付け）



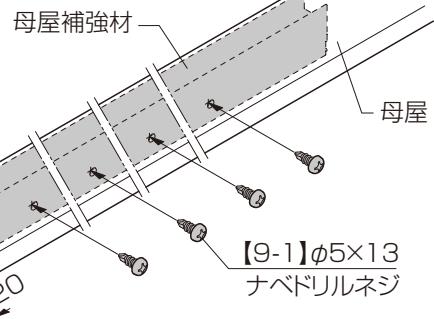
【柱内側移動】の場合の作業です。  
(柱移動側の補強作業です。)

- ①母屋の側面にφ5.5の穴加工を行なってください。(4ヶ所)
- ②母屋補強材の側面にφ4.5の追加穴をあけてください。
- ③母屋補強材を母屋へ差込み【9-1】で取付けてください。

【母屋】



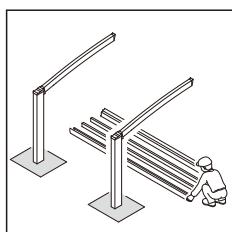
【母屋補強材】



お願い

フイン側の側面に穴をあけてください。

## □ 耐風圧、耐積雪の場合（母屋補強材の取付け）

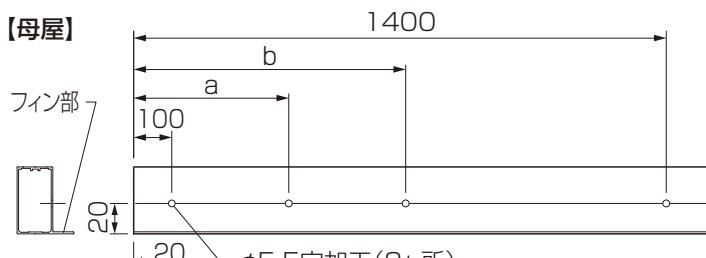


【耐風圧】・【耐積雪】の場合の  
作業です。

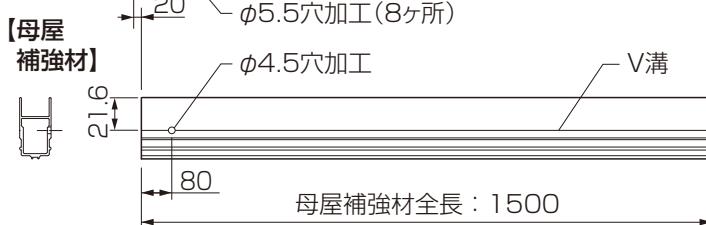


P.23-24  
【縦連棟・14延長】の場合の母屋補強材  
の加工・取付は、P.23・24を参照して  
ください。

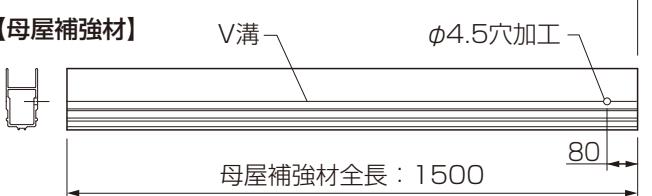
【母屋】



【母屋  
補強材】



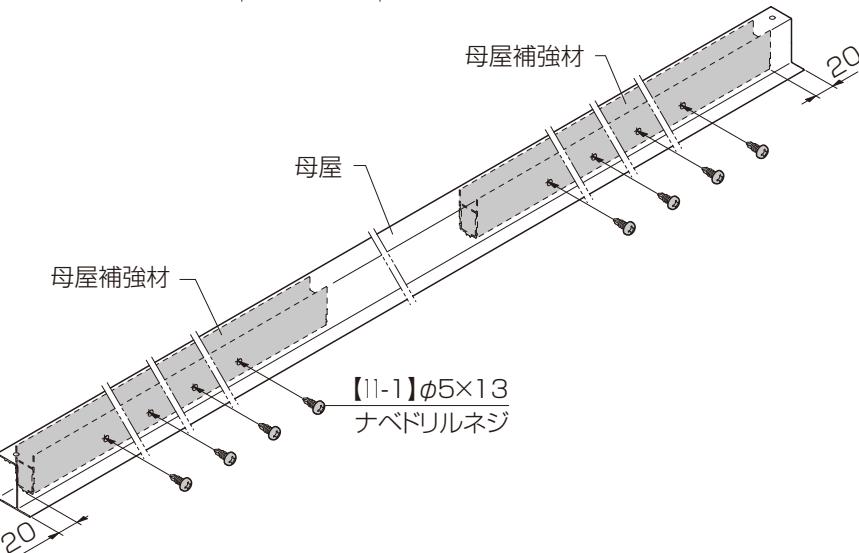
【母屋補強材】



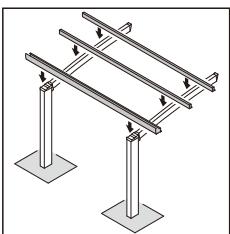
お願い

フイン側の側面に穴をあけてください。

奥行	a	b
L36	407.5	715
L43	484	868
L50	560.5	1021
L54	611	1122
L57	637	1174



## 5 母屋・後枠の取付け



【縦連棟・14延長】の場合は、P.25も事前に確認してください。

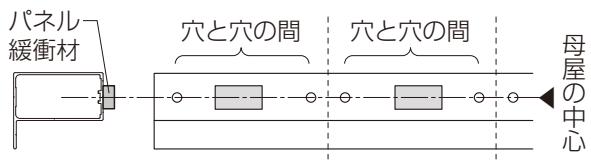
- ①後枠をブラケットに【7-2】で取付けてください。
- ②パネル緩衝材を母屋に貼り付けてください。
- ③母屋を梁に【7-2】で取付けてください。



【スマート雨樋仕様】の場合は、後枠内側に部品を取付けます。  
【スマート雨樋 取付説明書 (D608)】を参照してください。

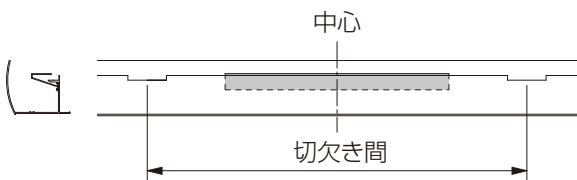
### お願い

パネル緩衝材は下図の位置に貼り付けてください。



### お願い

屋根材受けを下図の位置に移動させてください。



【7-2】 $\phi 5 \times 12$

トラスタッピンネジ3種

屋根材受け

後枠

パネル緩衝材

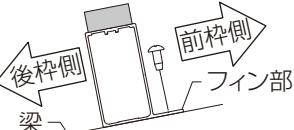
【7-2】 $\phi 5 \times 12$

トラスタッピンネジ3種

母屋

### お願い

母屋のフィンは  
前枠側に  
向けてください。

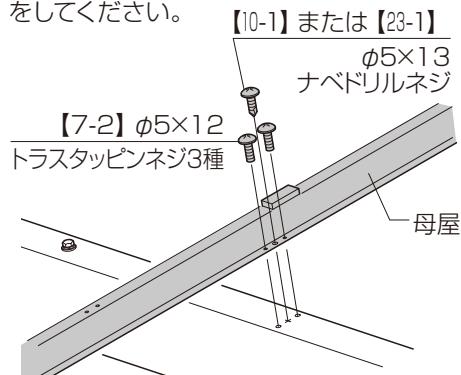


### 耐風圧・柱内側移動

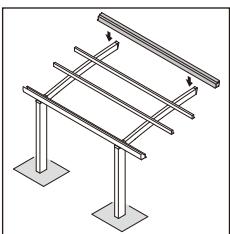
### OP オプション

### 【耐風圧】・【柱内側移動】 の場合の作業です。

母屋と梁に【10-1】または【23-1】で追加固定をしてください。



## 6 前枠の取付け



【縦連棟・14延長】の場合は、P.25も事前に確認してください。

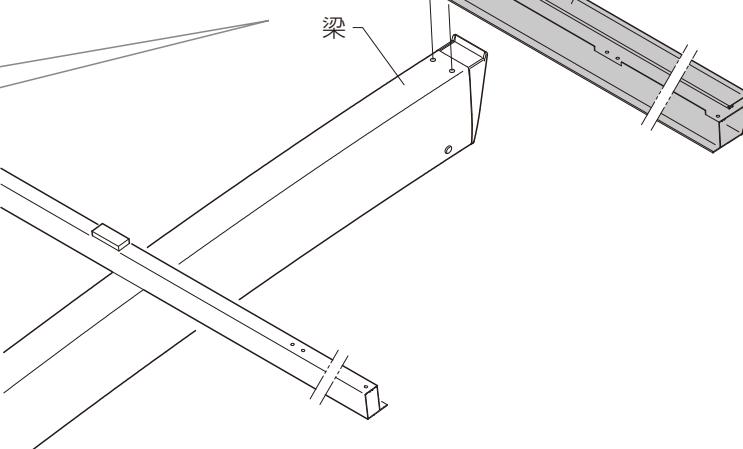
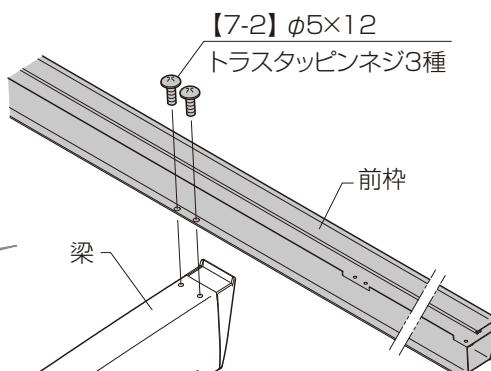
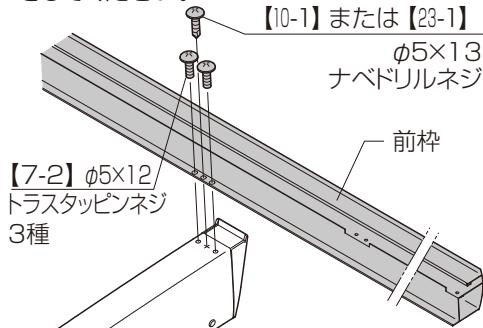
- ①前枠を梁に【7-2】で取付けてください。

### 耐風圧・柱内側移動

### OP オプション

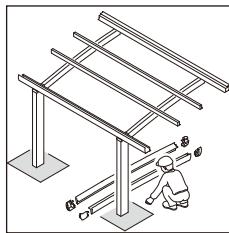
### 【耐風圧】・【柱内側移動】 の場合の作業です。

前枠と梁に【10-1】または【23-1】で追加固定をしてください。

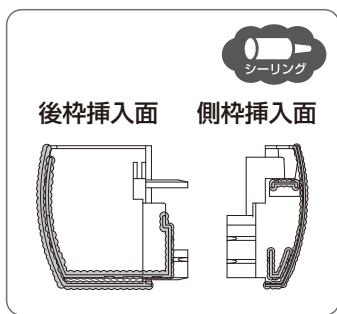
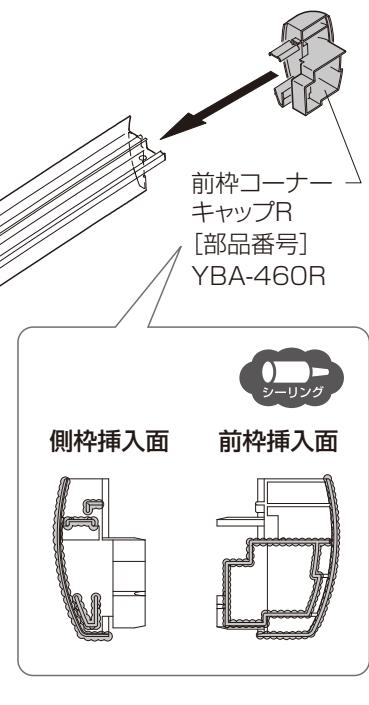


## 7 側枠の取付け

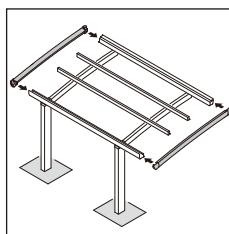
### 1 コーナーキャップの取付け



- ①コーナーキャップにシーリング材を充てんしてください。
- ②コーナーキャップを側枠にはめ込んでください。



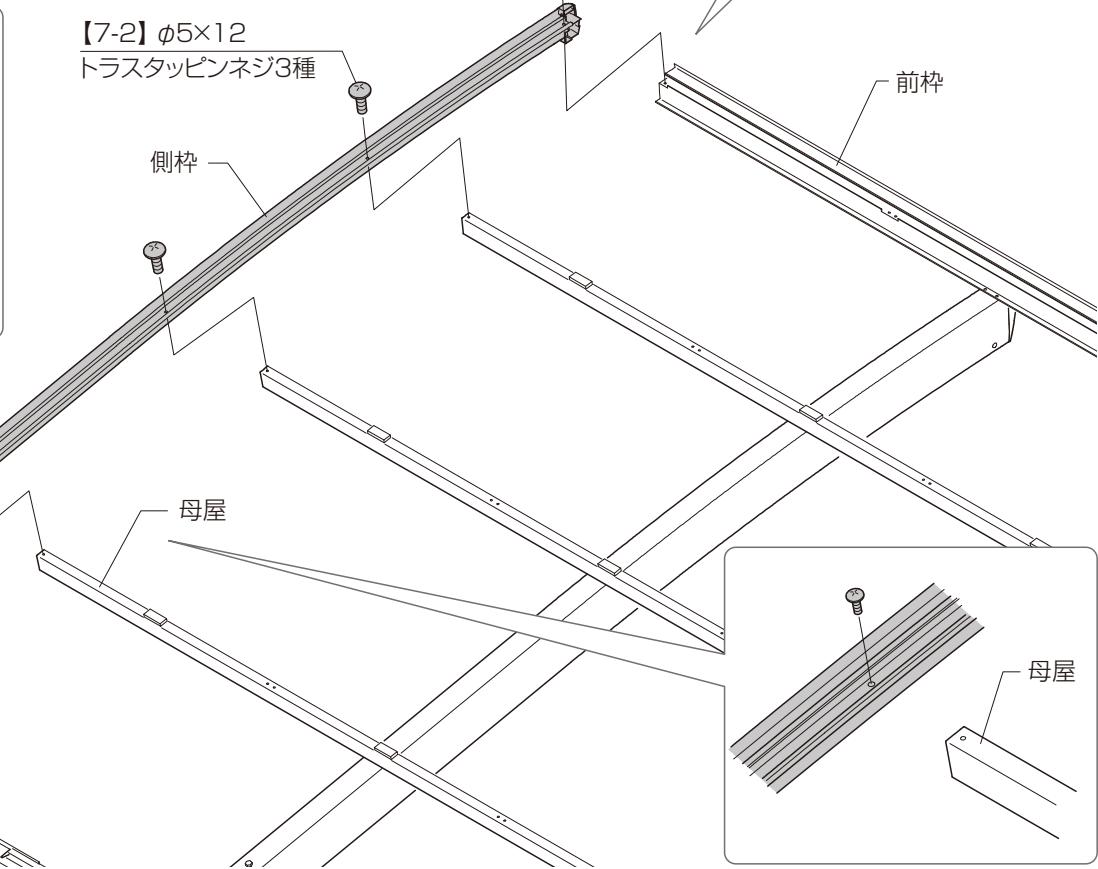
### 2 側枠の取付け



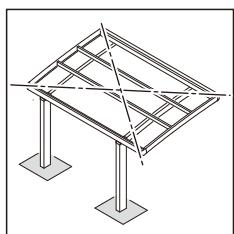
- ①側枠を後枠・母屋・前枠に【7-2】で取付けてください。

#### お願い

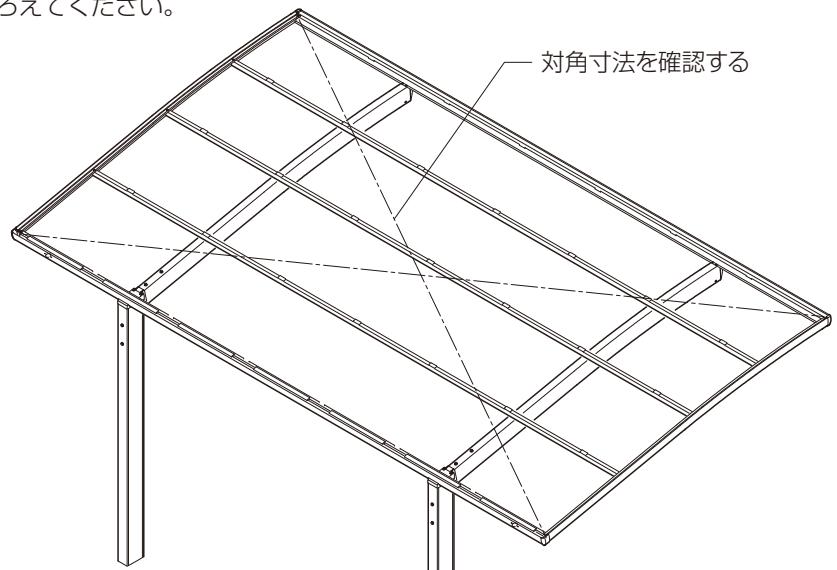
ネジの浮き・傾きがないように取付けてください。



## 8 対角寸法の確認

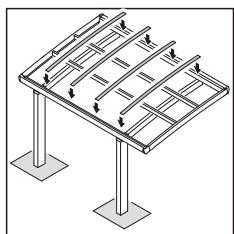


①屋根枠まわりの対角寸法をそろえてください。



対角寸法を確認する

## 9 垂木の取付け



①垂木を後枠・母屋・前枠に【7-2】で取付けてください。

### お願い

ネジの浮き・傾きがないように取付けてください。



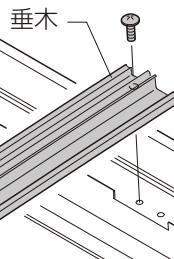
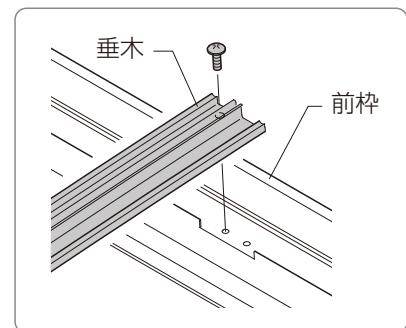
ネジの浮き



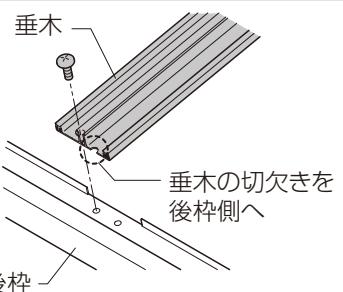
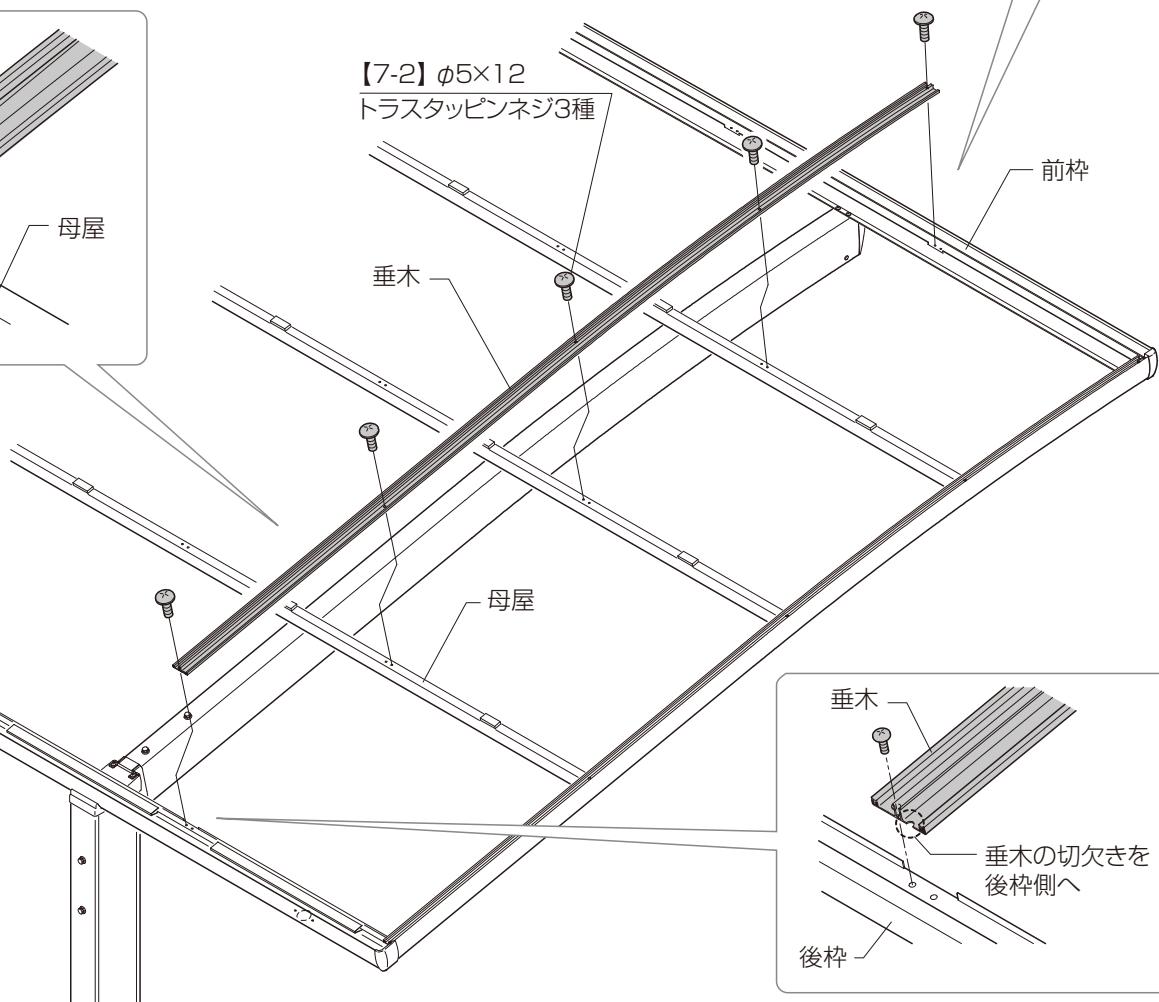
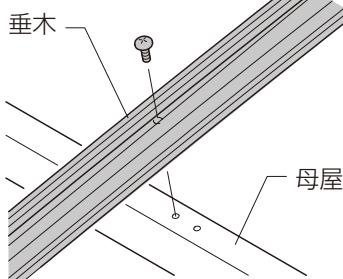
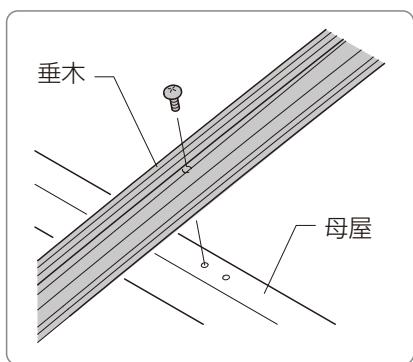
ネジの傾き



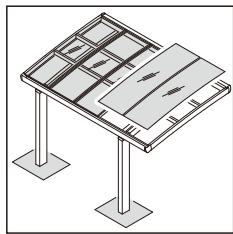
ネジの浮き・傾きなし



前枠



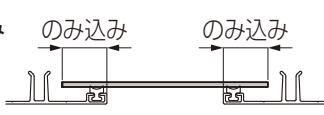
## 10 屋根材の取付け



①屋根材を前枠のカバー部に差し込み、後枠の屋根材受けに差込んでください。

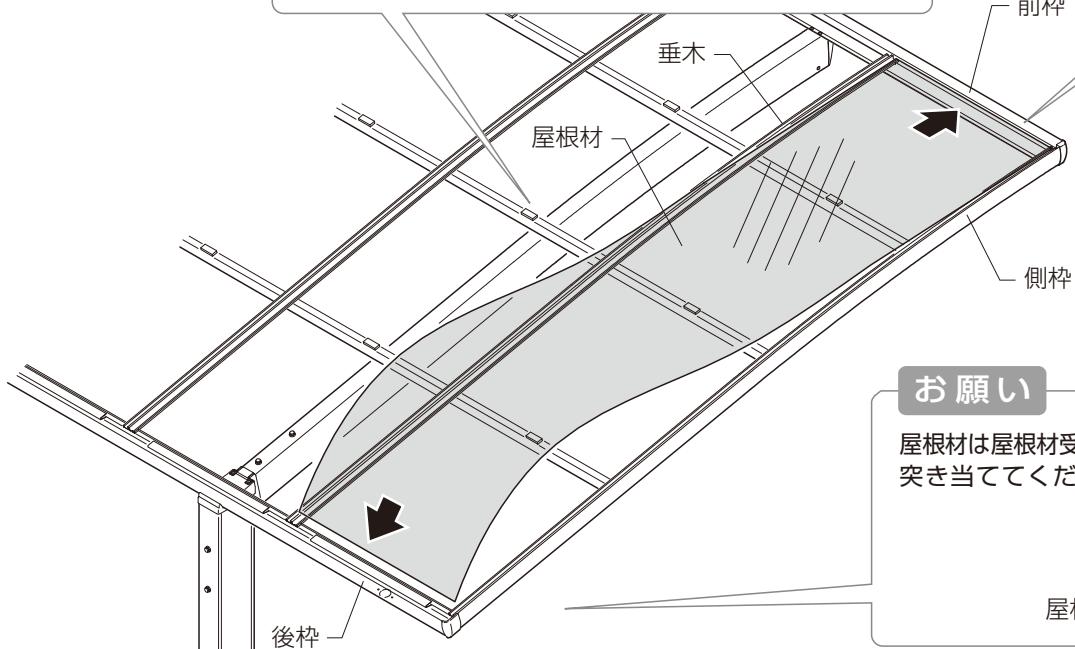
### お願い

垂木部の屋根材のみ込み  
寸法は左右均等にして  
ください。



### お願い

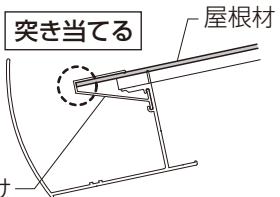
屋根材は必ず裏表を確認し、  
保護シートをはがしてから  
取付けてください。



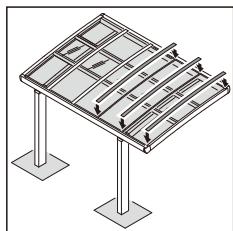
### お願い

屋根材は屋根材受けに  
突き当てるください。

#### 突き当てる



## 11 側枠カバー・垂木カバーの取付け



①垂木カバー・側枠カバーを、垂木・側枠に【7-2】で取付けてください。  
②垂木カバー・側枠カバーにシーリング材を充てんしてください。



【耐風圧仕様】の場合は、  
【屋根材ホルダー 取付説明書  
(D614)】も参照してください。

### お願い

【取付けた後は】  
垂木と垂木カバーが  
かみ合っていることを  
確認してください。

#### かみ合わせる



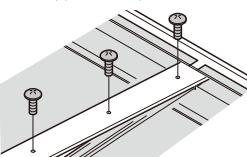
### お願い

【取付ける際は】  
・前枠側から取付け  
てください。

・前枠に突き当てる  
取り付けてください。

#### カバー

#### 突き当てる



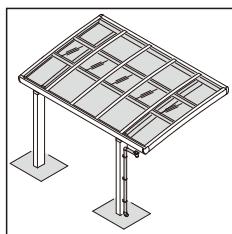
#### 【7-2】

$\phi 5 \times 12$

トラスタッピング

ネジ3種

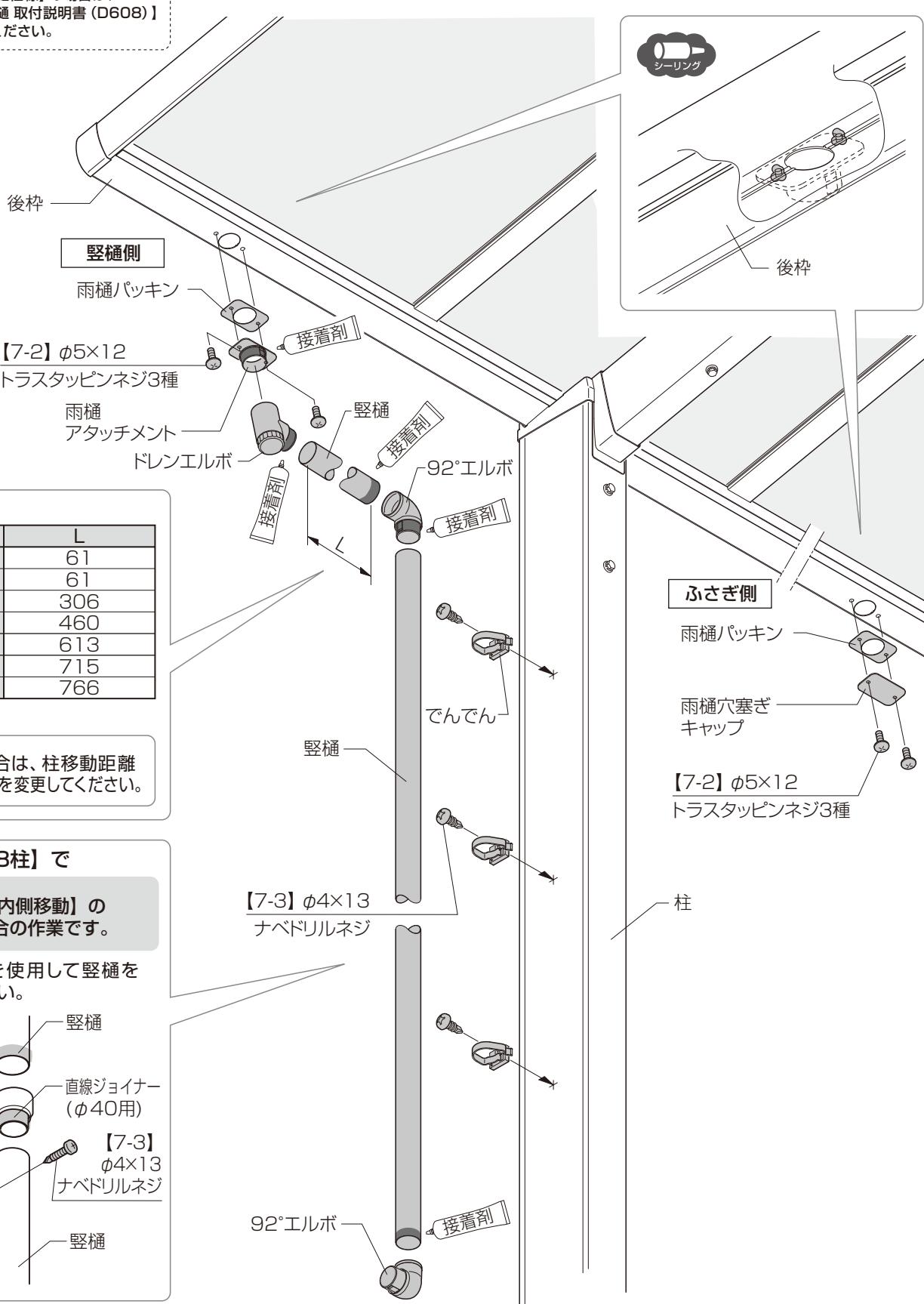
## 12 竪樋の取付け



- ① 竪樋を切断してください。
- ② 後枠片方の水抜き穴に「雨樋パッキン」、「雨樋アタッチメント」を【7-2】で取付けてください。
- ③ 柱に「でんでん」を【7-3】で取付けてください。
- ④ 「ドレンエルボ」、「竪樋」、「92°エルボ」を接着剤で取付けてください。
- ⑤ 逆側の水抜き穴に「雨樋パッキン」、「雨樋穴塞ぎキャップ」を【7-2】で取付けてください。
- ⑥ 後枠内のネジ部にシーリング材を充てんしてください。



【スマート雨樋仕様】の場合は、  
【スマート雨樋 取付説明書 (D608)】  
も参照してください。



# 縦連棟タイプの施工



【縦連棟】または【14延長】の場合の作業です。

## ■ 縦連棟 (L22・L29) の確認事項

### □ 姿図



【縦連棟】の場合の作業です。

### お願い

柱内の水が抜けるように必ず碎石を敷いてください。

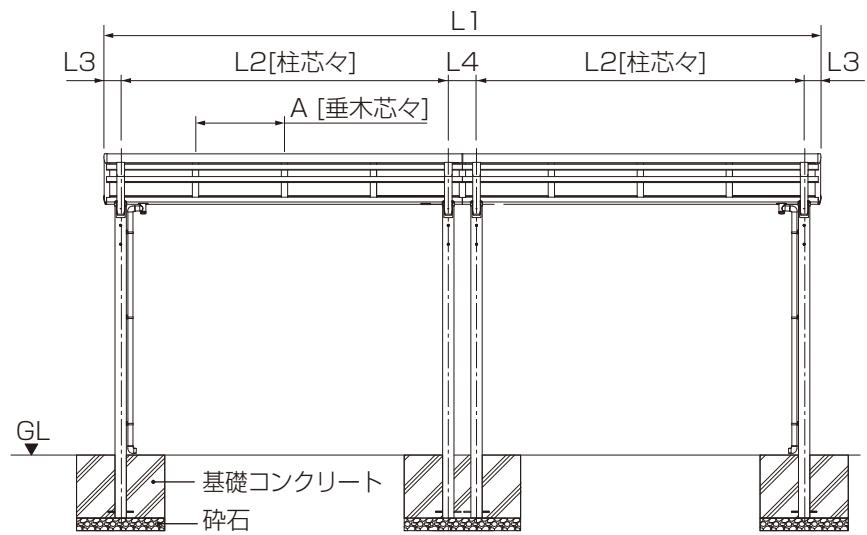
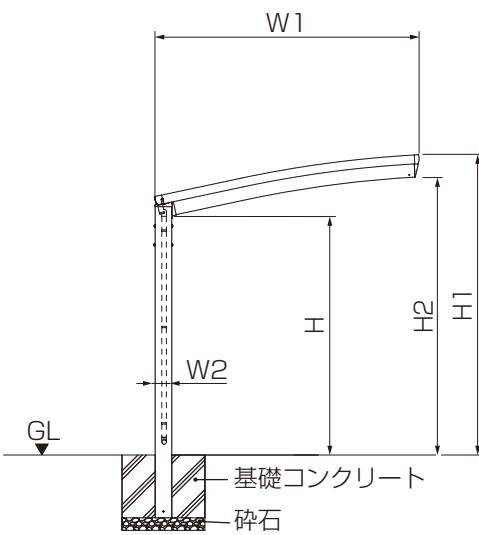
### 補足

【ロング柱の場合】

H寸法に+608してください。

【H28柱の場合】

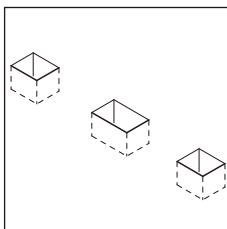
H寸法に+908してください。



サイズ(間口)	W1	W2	H1	H2	H
ミニ	W18	1801	132	2326	2149 1903
	W21	2101	132	2390	2213 1903

サイズ(奥行)	L1	L2	L3	L4	A
ミニ	L22+22	4274	1894	131	224 706
	L29+29	5686	2600	131	224 706

### □ 基礎の墨出し

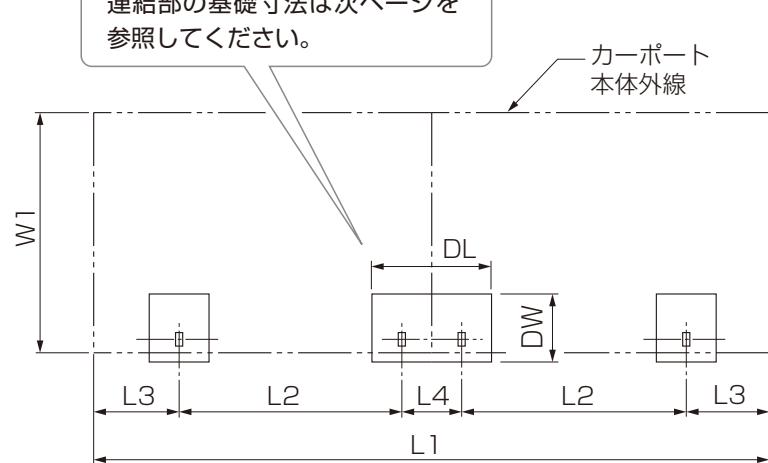
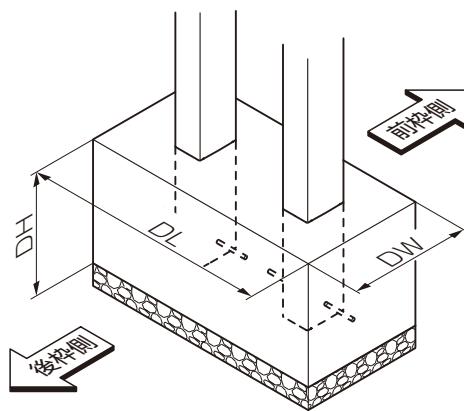


①柱の埋込み位置を出して、基礎穴を掘ってください。

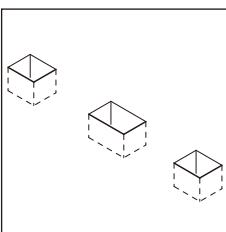


【連結部以外の基礎寸法数値について】

連結部以外の基礎寸法「DW」「DL」「DH」は『P.10』を参照してください。



## □ 基礎寸法の確認



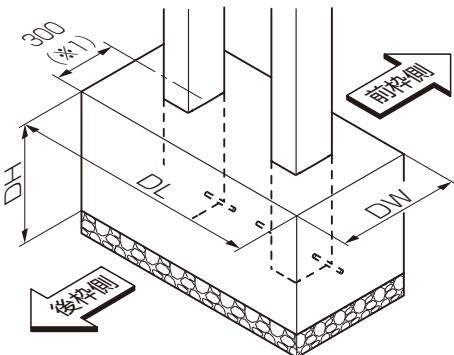
①基礎穴寸法を確認してください。

フーゴ	独立基礎サイズ			土間コン基礎サイズ			
	サイズ	DW	DL	DH	DW	DL	DH
W18	600	1000	500	400	600	500	
W21	600	1100	500	400	600	500	

ネスカ	独立基礎サイズ			土間コン基礎サイズ			
	サイズ	DW	DL	DH	DW	DL	DH
W18	600	800	500	400	600	500	
W21	600	800	500	400	600	500	



【独立基礎仕上げ】の場合の作業です。

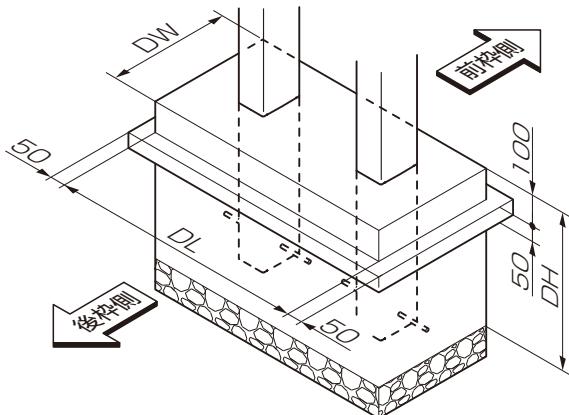


### 補足

(※1)は柱芯から柱背面側の基礎端面までの寸法です。

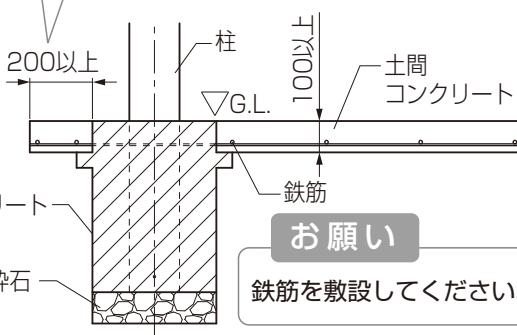


【土間コンクリート仕上げ基礎】の場合の作業です。



### お願い

基礎上面と土間コンクリートの縁端距離は200mm以上になるようにしてください。



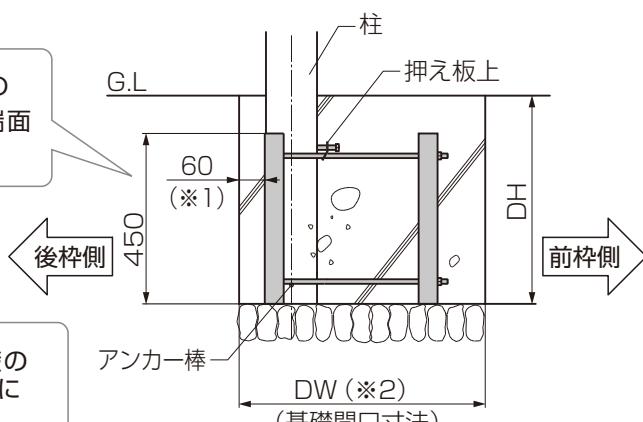
【偏芯基礎部材】を取付ける場合の作業です。



組立て方法、基本寸法については  
【偏芯基礎部材 取付説明書 (D349)】も参照してください。

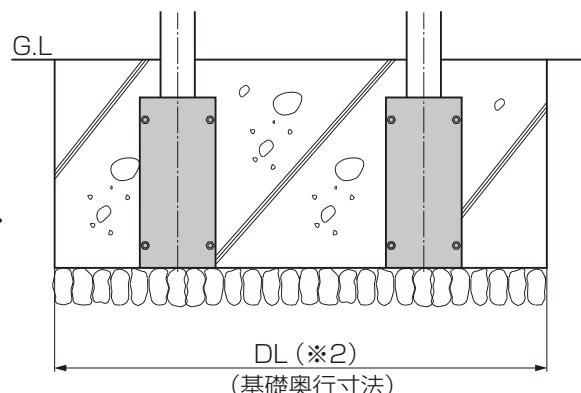
### 補足

※1はタテ材Aの  
外面から基礎端面  
の寸法です。



### 補足

※2は独立基礎の  
基礎寸法と同じに  
なります。



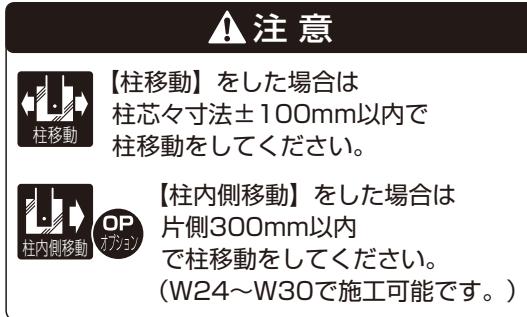
## ■縦連棟(L36~L57)の確認事項

### □ 姿図



#### お願い

柱内の水が抜けるように必ず  
碎石を敷いてください。



#### 補足

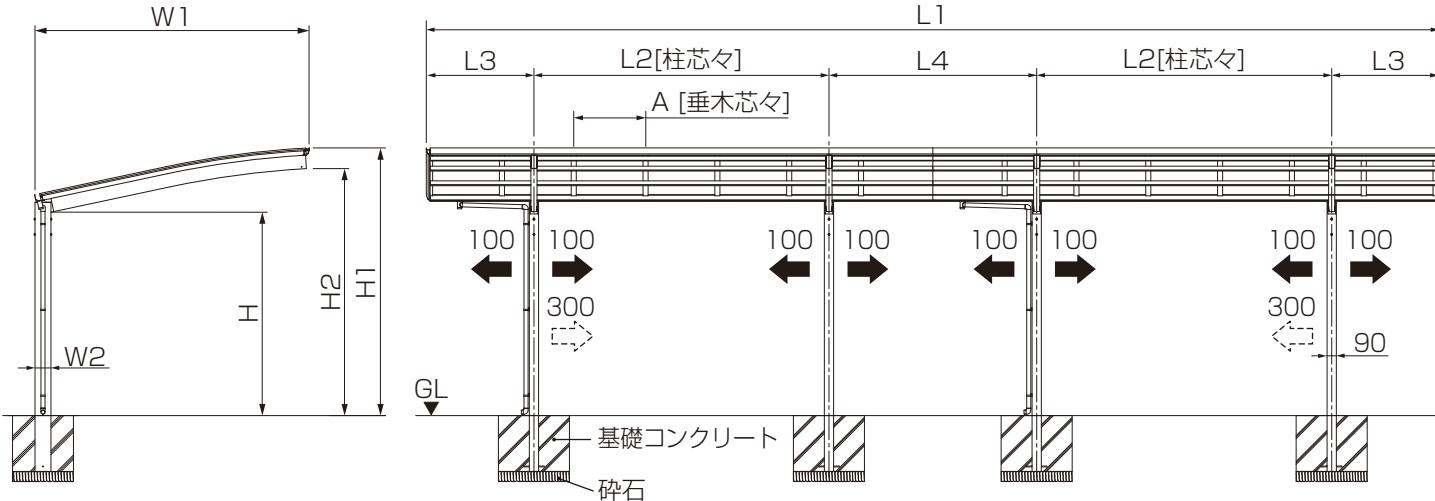
印は【柱移動】印は【柱内側移動】  
範囲を示します。範囲を示します。

#### 【ロング柱の場合】

W18~W21=H寸法に+608してください。  
W24~W30=H寸法に+300してください。

#### 【H28柱の場合】

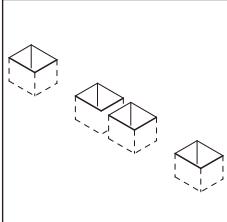
W18~W21=H寸法に+908してください。  
W24~W30=H寸法に+600してください。



サイズ(間口)	W1	W2	H1	H2	H
ミニ	W18	1801	132	2326	2149 1903
	W21	2101	132	2390	2213 1903
レギュラー	W24	2400	157	2768	2564 2196
	W25	2551	157	2800	2596 2196
	W27	2701	157	2832	2628 2196
	W30	2999	157	2976	2770 2196

サイズ(奥行)	L1	L2	L3	L4	A
ミニ	L36+36	7098	2100	734	1430 706
	L43+43	8510	2500	887	1736 706
ミニ/レギュラー	L50+50	9922	2900	1040	2042 706
	L54+54	10726	3100	1141	2244 668
レギュラー	L57+57	11334	3300	1193	2348 706

### □ 基礎の墨出し

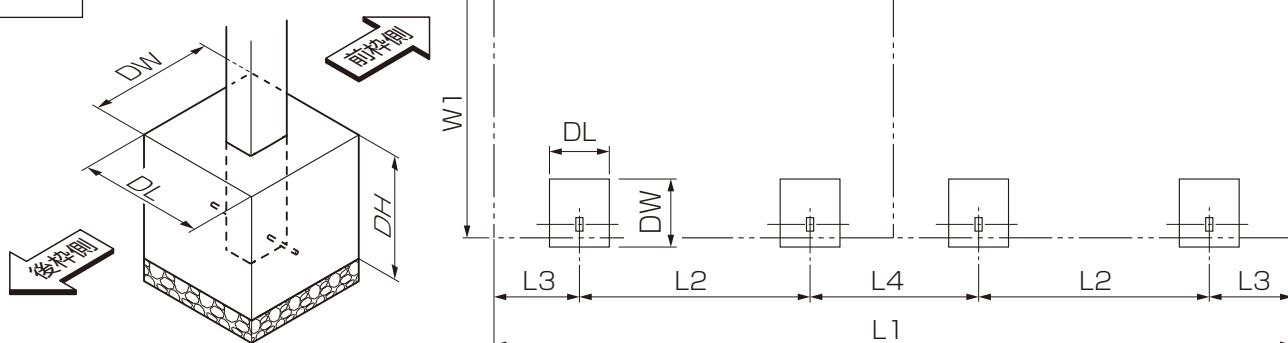


①柱の埋込み位置を出して、基礎穴を掘ってください。



#### 【基礎寸法について】

基礎寸法「DW」「DL」「DH」は『P.10』を参照してください。



## ■14延長の確認事項

### □ 姿図

 [14延長] の場合の作業です。

**お願い**

- 柱内の水が抜けるように必ず碎石を敷いてください。
- 14延長側および中間の柱の柱内側移動はできません。

**▲注意**

 【柱移動】をした場合は柱芯々寸法±100mm以内で柱移動をしてください。

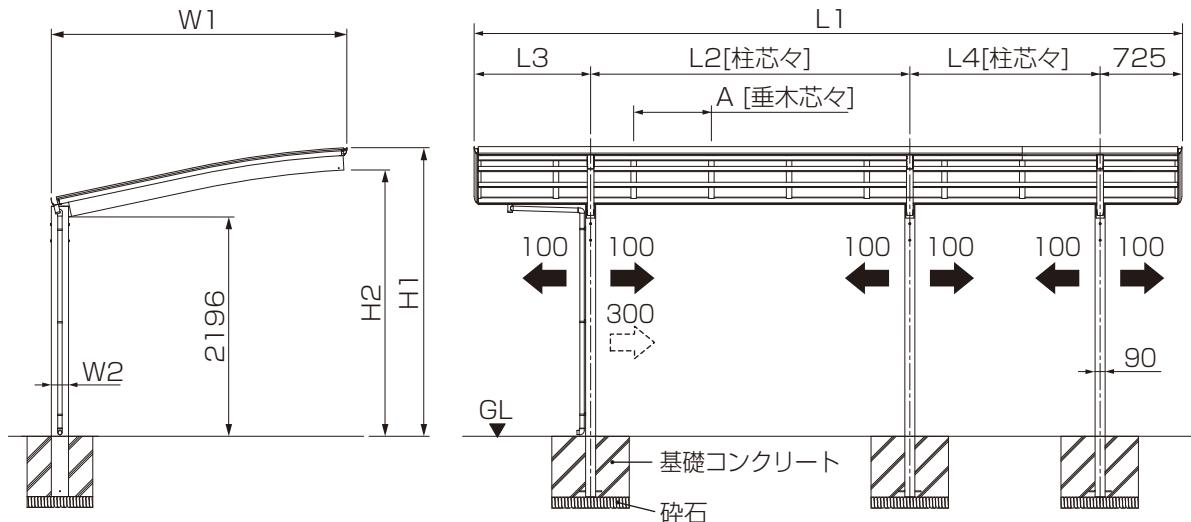
 【柱内側移動】をした場合は片側300mm以内で柱移動をしてください。

**補足**

印は【柱移動】印は【柱内側移動】範囲を示します。範囲を示します。

**【ロング柱の場合】**  
H寸法に+300してください。

**【H28柱の場合】**  
H寸法に+600してください。

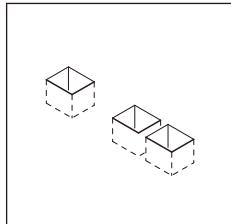


サイズ(間口)	W1	W2	H1	H2
レギュラー	W24	2400	157	2768 2564
	W25	2551	157	2800 2596
	W27	2701	157	2832 2628
	W30	2999	157	2976 2770

サイズ(奥行)	L1	L2	L3	L4	A
レギュラー	L50+14	6392	2900	1040	1727 706
	L54+14	6794	3100	1141	1828 668(706)※1
	L57+14	7098	3300	1193	1880 706

※1:L54+14型の場合、14延長側のピッチAは706になります。

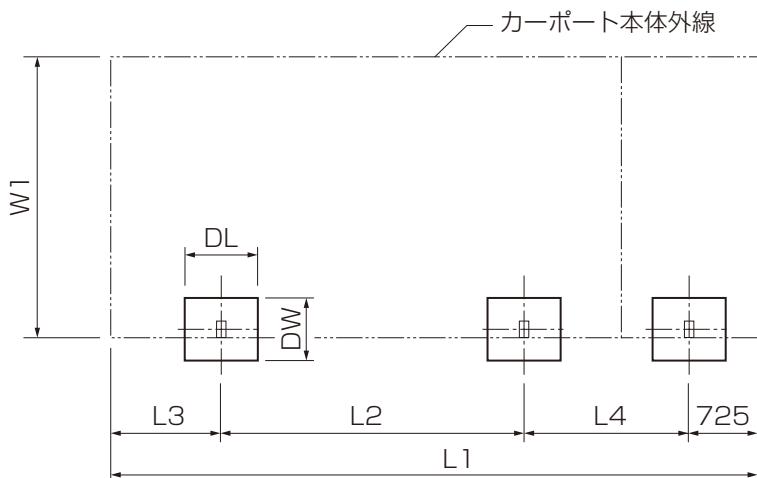
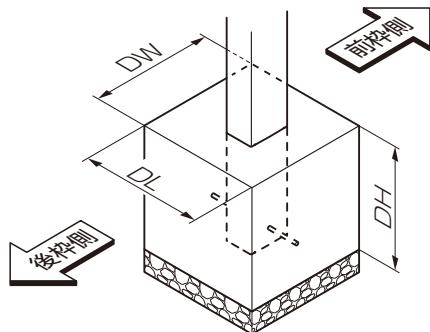
### □ 基礎の墨出し



①柱の埋込み位置を出して、基礎穴を掘ってください。

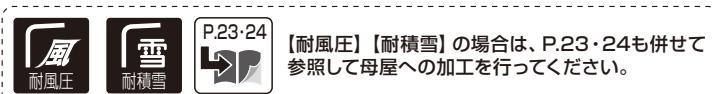
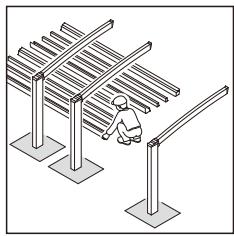


**P.10** [基礎寸法数値について]  
基礎寸法「DW」「DL」「DH」は『P.10』を参照してください。



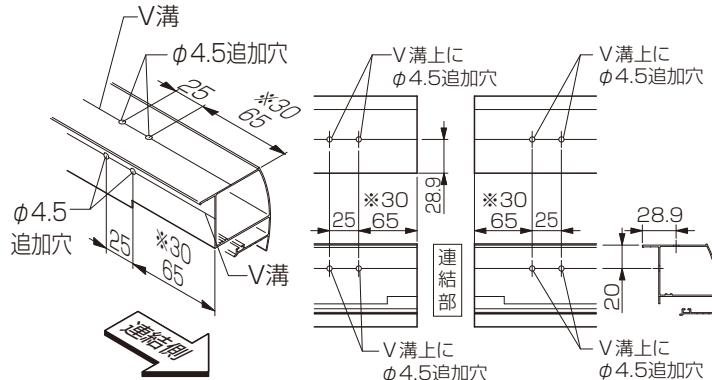
# 1 連結部の加工

## □ 連結スリーブ取付用の穴加工

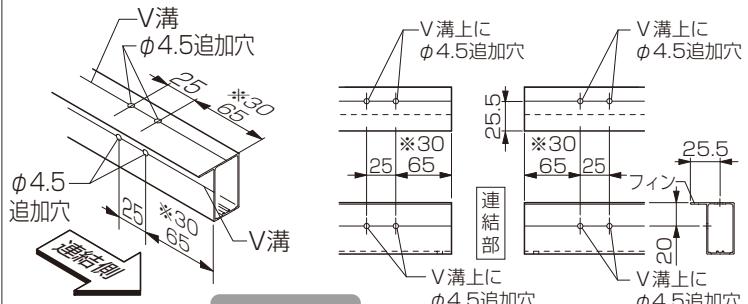


①前枠・母屋・後枠・母屋スリーブの連結側を穴加工ください。  
※印寸法は縦連棟(L22・L29)の場合のみです。

### 【前枠】(下面から見る)



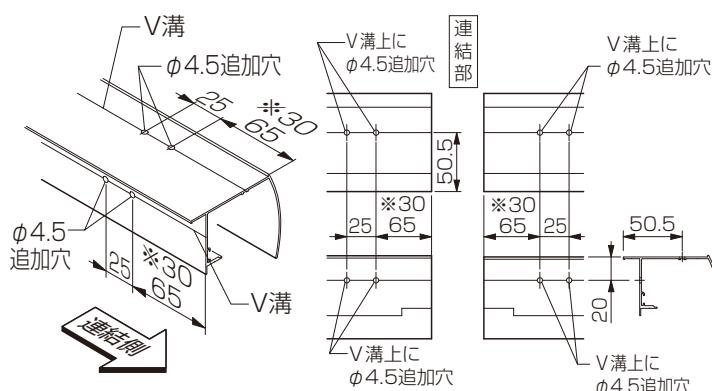
### 【母屋】(下面から見る)



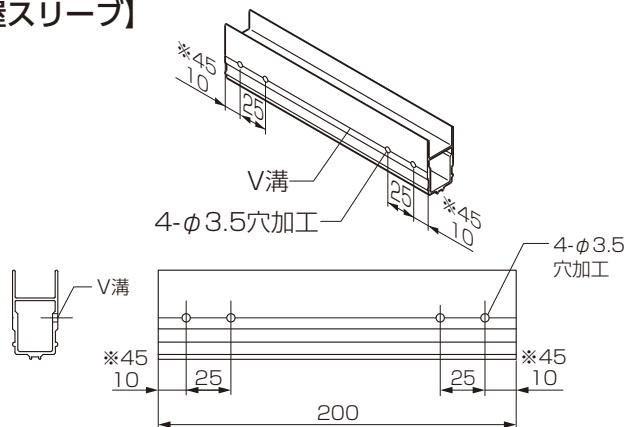
#### 補足

母屋への穴加工はフィン側に行なってください。

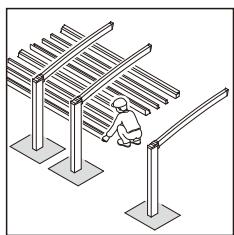
### 【後枠】(下面から見る)



### 【母屋スリーブ】



## □ 耐積雪・耐風圧の場合：縦連棟 (母屋補強材取付用の穴加工)



【耐積雪】  
【耐風圧】

の場合の作業です。

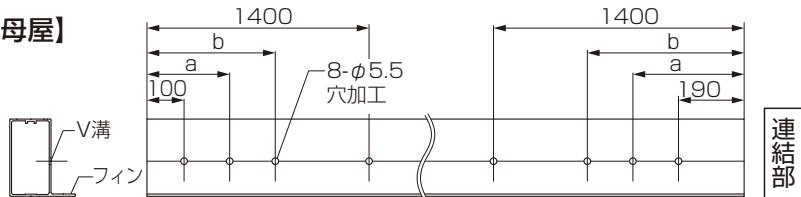
①母屋・母屋補強材を加工してください。

#### 補足

母屋への穴加工はフィン側に行なってください。

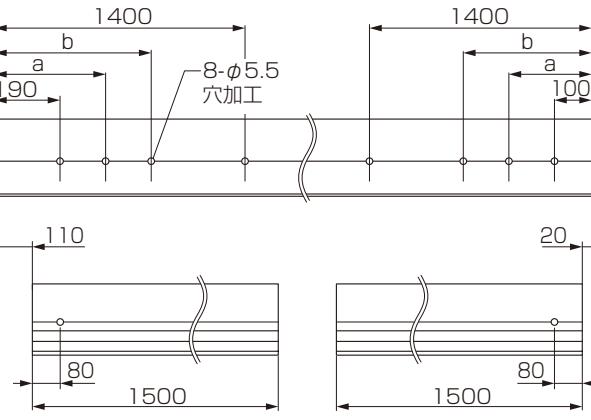
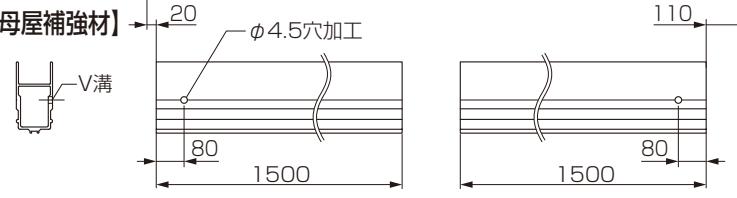
サイズ(奥行)	a	b
ミニ	L36	407.5
	L43	484
ミニ/レギュラー	L50	560.5
レギュラー	L54	611
	L57	637
		1122
		1174

### 【母屋】

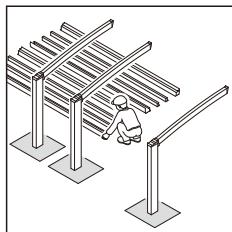


連結部

### 【母屋補強材】



## □ 耐積雪・耐風圧の場合：14延長（母屋補強材取付用の穴加工）

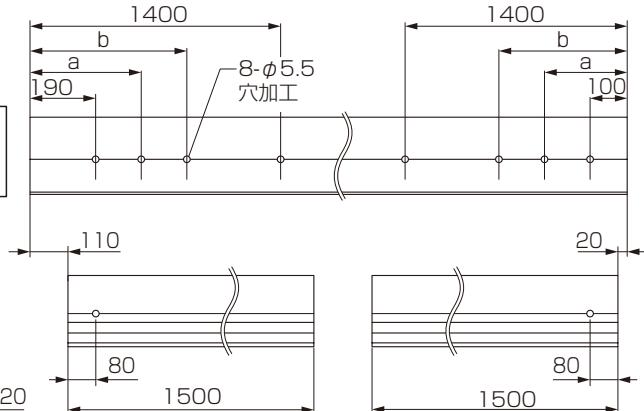
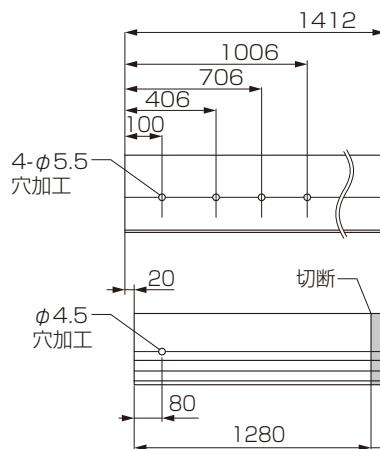


14延長 で **耐積雪** **耐風圧** の場合の作業です。

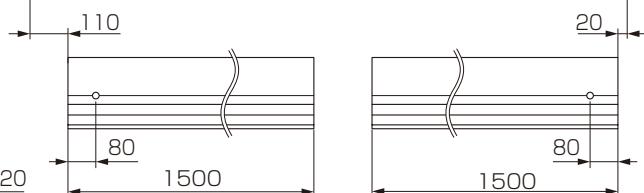
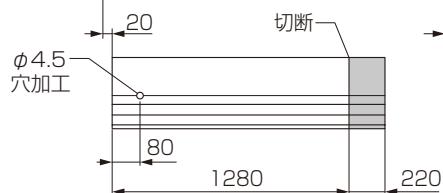
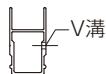
- ①母屋・母屋補強材を加工してください。

サイズ(奥行)	a	b
ミニ	L36	407.5
	L43	484
ミニ/レギュラー	L50	560.5
	L54	611
レギュラー	L57	637
		1174

**【母屋】**



**【母屋補強材】**

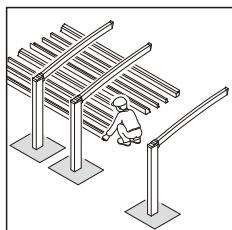


### 補足

母屋への穴加工はフィン側に行なってください。

## 2 部材の取付け

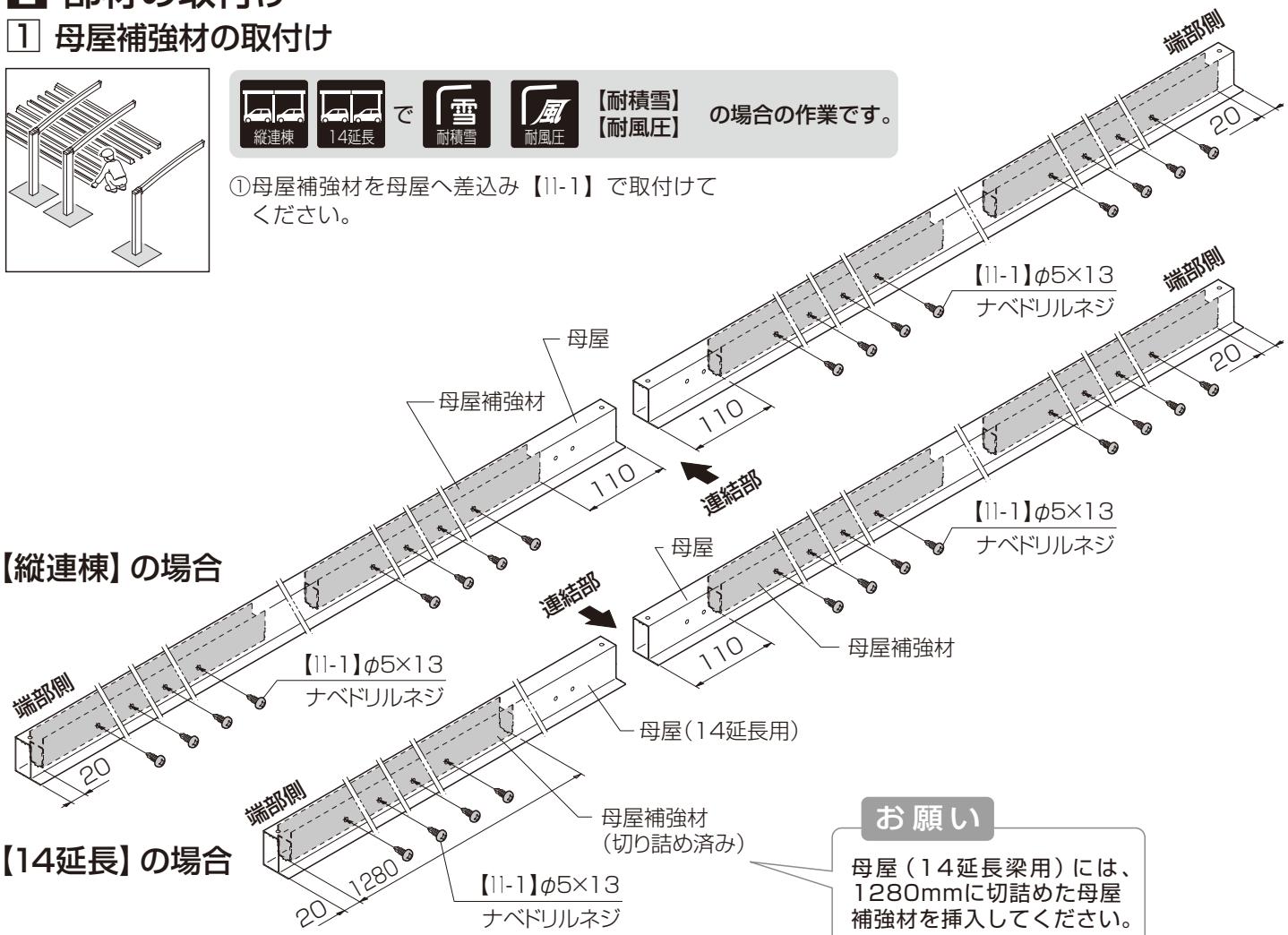
### 1 母屋補強材の取付け



縦連棟 14延長 で **耐積雪** **耐風圧** の場合の作業です。

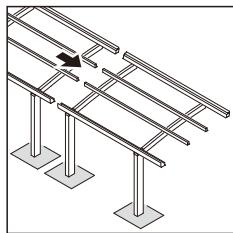
- ①母屋補強材を母屋へ差込み【11-1】で取付けてください。

**【縦連棟】の場合**

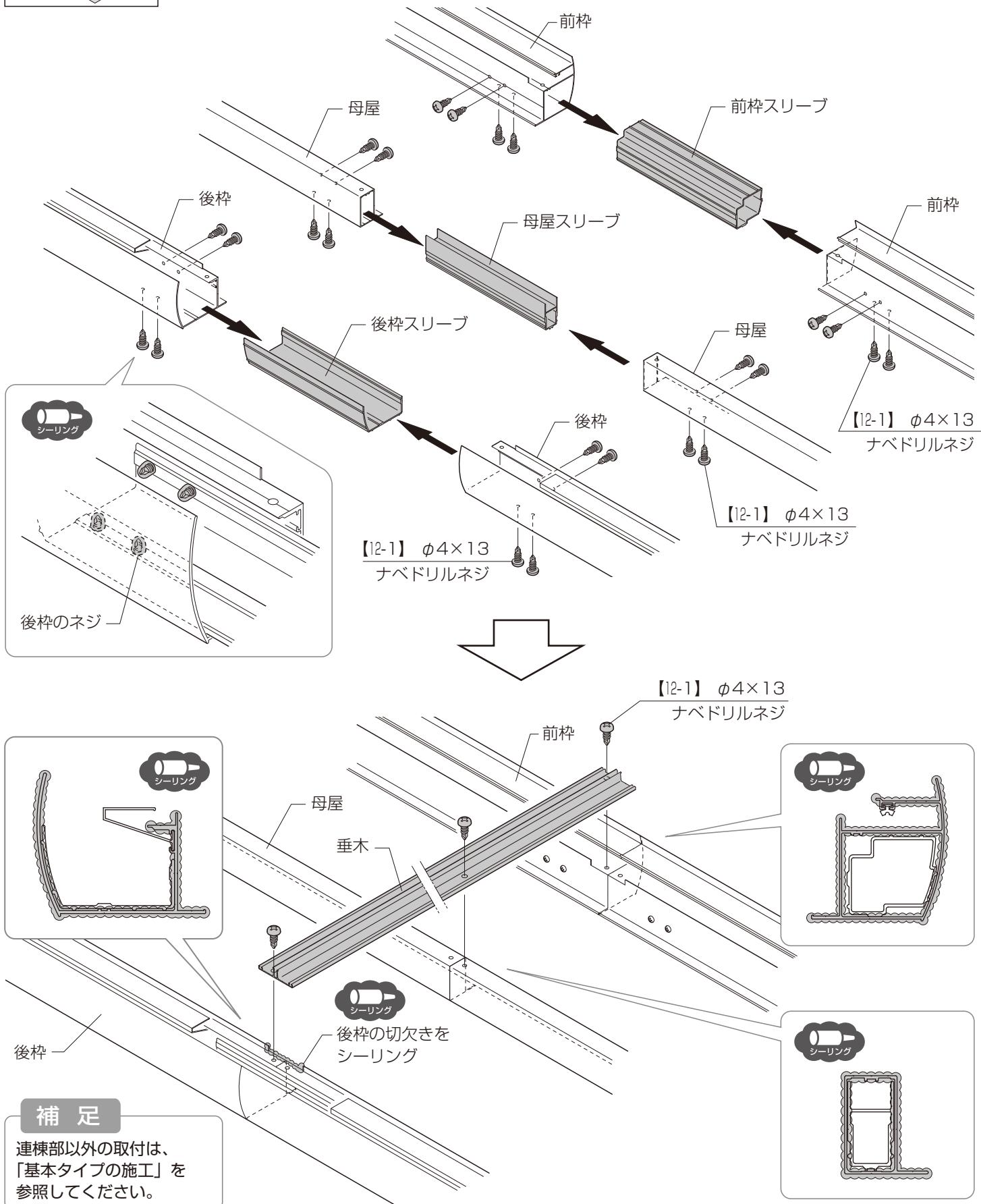


**【14延長】の場合**

## 2 連棟部の連結



- ①後枠スリーブを取付けるネジ【I2-1】にシーリング材を充てんしてください。
  - ②前枠、母屋、後枠に、それぞれのスリーブを【I2-1】で取付けて連結してください。
  - ③後枠の欠けき部と各部材の連結部分にシーリング材を充てんしてください。
  - ④連結部分に垂木を【I2-1】で取付けてください。



連棟部以外の取付は、「基本タイプの施工」を参照してください。

# M合掌タイプの施工



[M合掌] の場合の作業です。

## ■ M合掌の確認事項

### □ 姿図

#### ▲ 注意



【柱移動】をした場合は柱芯々寸法±100mm以内で柱移動をしてください。

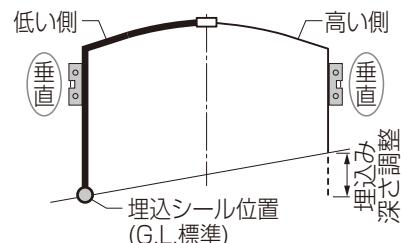


【柱内側移動】をした場合は片側300mm以内で柱移動をしてください。(W24~W30で施工可能です。)

#### お願い

##### 【傾斜地で施工する場合】

低い側の本体高さを基準とし、高い側の本体の埋め込み深さを調整して、本体高さを合わせ、柱が垂直になるよう施工してください。合掌棟木に水がたまり、漏水するおそれがあります。



### 補足

←印は【柱移動】範囲を示します。→印は【柱内側移動】範囲を示します。(フーゴのみ)

#### 【ロング柱の場合】

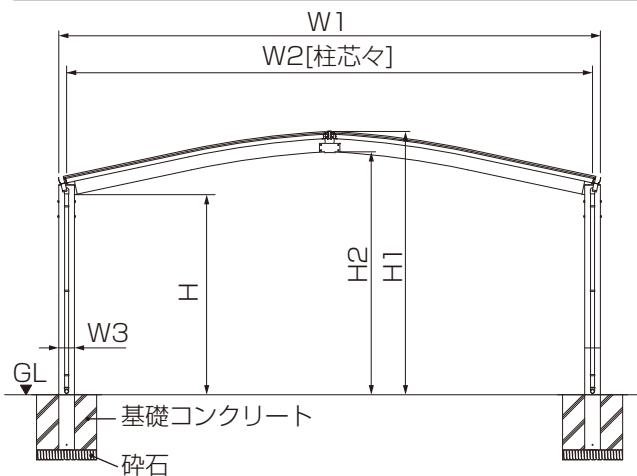
W18~W21=H寸法に+608してください。  
W24~W30=H寸法に+300してください。

#### 【H28柱の場合】

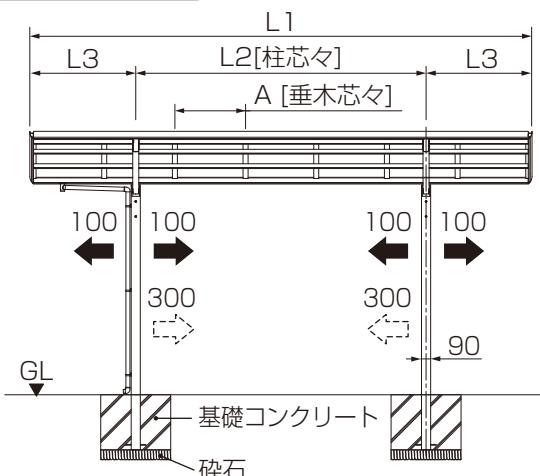
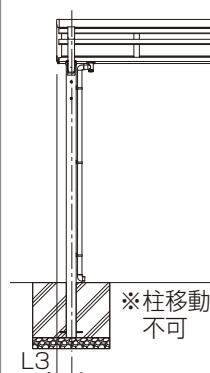
W18~W21=H寸法に+908してください。  
W24~W30=H寸法に+600してください。

#### お願い

柱内の水が抜けるように必ず碎石を敷いてください。



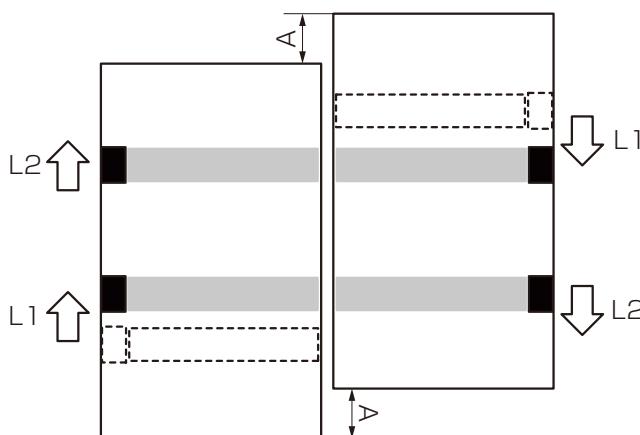
#### 【L22・L29の場合】



サイズ(間口)	W1	W2	W3	H	H1	H2
ミニ	W18-18	3616	3481	132	1903	2328 2149
	W21-21	4216	4081	132	1903	2392 2213
レギュラー	W24-24	4816	4653	157	2196	2771 2564
	W25-25	5116	4953	157	2196	2803 2596
	W27-27	5416	5253	157	2196	2835 2628
	W30-30	6013	5851	157	2196	2978 2770

サイズ(奥行)	L1	L2	L3	A
ミニ	L22	2156	1894	131 706
	L29	2862	2600	131 706
レギュラー	L36	3568	2100	734 706
	L43	4274	2500	887 706
ミニ/レギュラー	L50	4980	2900	1040 706
レギュラー	L54	5382	3100	1141 668
	L57	5686	3300	1193 706

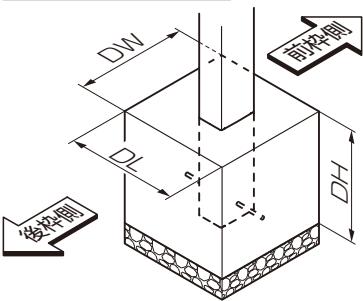
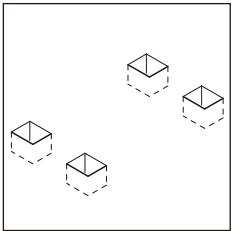
### □ 段違い合掌 段差寸法Aと柱移動距離L、柱ピッチの関係 (M合掌・Y合掌共通)



A	L1	L2	柱ピッチ		
			L50	L54	L57
400	300※	100	2700	2900	3100
350	300※	50	2650	2850	3050
300	300※	0	2600	2800	3000
250	250※	0	2650	2850	3050
200	100	100	2900	3100	3300
150	100	50	2850	3050	3250
100	100	0	2800	3000	3200
50	50	0	2850	3050	3250
0	0	0	2900	3100	3300

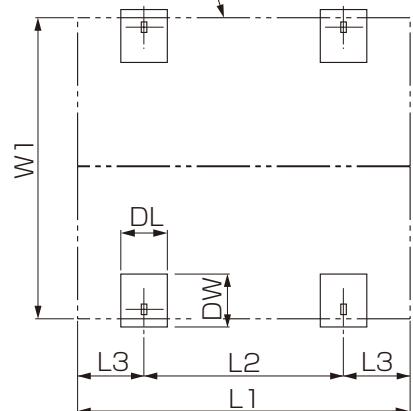
※柱内側移動オプションが必要です。

## □ 基礎の墨出し



①柱の埋込み位置を出して、基礎穴を掘ってください。

カーポート本体外線



【基礎寸法について】

基礎寸法「DW」「DL」「DH」は「P.10」を参照してください。

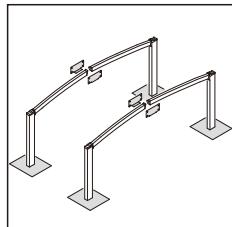
### お願い

サイズ(間口)違いの場合に基礎深さ(DH)は下表の寸法になります。

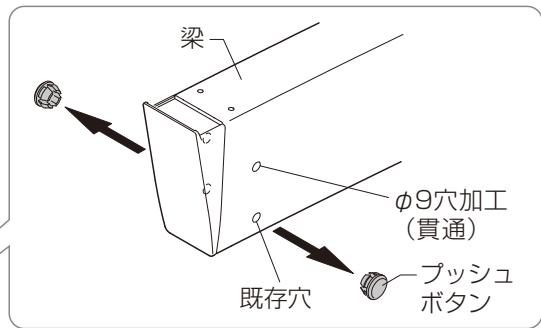
サイズ(間口)	W18側	W21側	W24側	W25側	W27側	W30側
W18-21	500	564	—	—	—	—
W24-25	—	—	550	582	—	—
W25-27	—	—	—	550	582	—
W27-30	—	—	—	—	550	692

# 1 合掌部の取付け

## 1 合掌金具の取付け

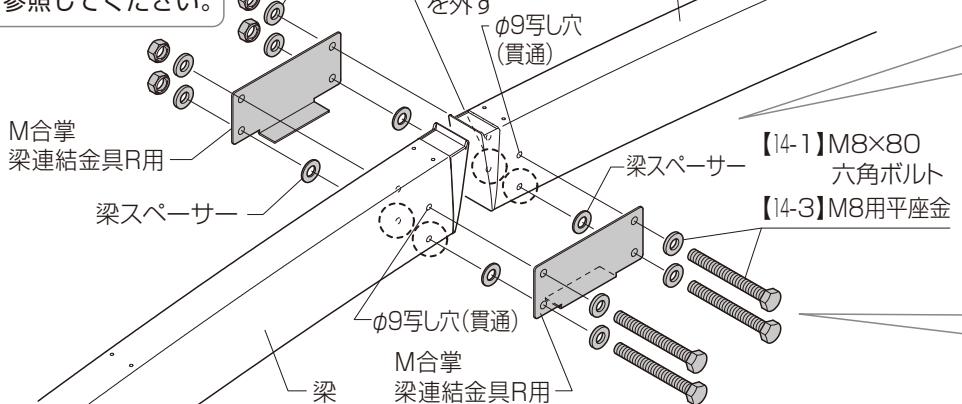


- ① 梁のプッシュボタンを外してください。
- ② 梁にM合掌梁連結金具を当てがい穴位置をケガキ、  
φ9の貫通穴をあけてください。
- ③ 梁と梁をM合掌梁連結金具R用と梁スペーサー、  
【14-1】～【14-3】で固定してください。



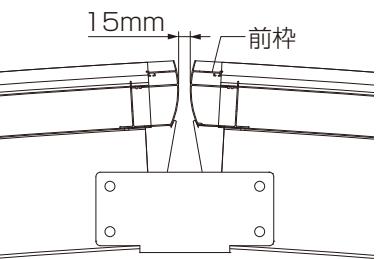
### 補足

合掌部以外の取付は、  
「基本タイプの施工」  
を参照してください。



### お願い

前枠と前枠の間隔が15mmである  
ことを確認してください。

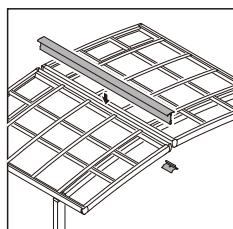


### お願い

ボルトを締付ける際は 梁が変形  
しないように締め込みすぎない  
ようにしてください。

# 2 合掌棟木の取付け

## □ 単独施工の場合

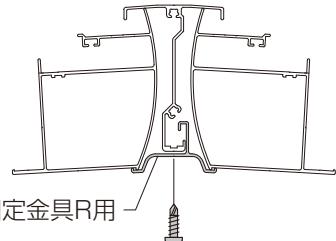


### 補足

「基本タイプの施工：9垂木の取付け」の後に本手順を行なって  
ください。

### お願い

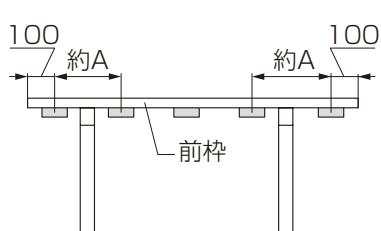
段差を付けて施工する場合はM・Y合掌棟木を段差寸法分切断  
してから取付けてください。



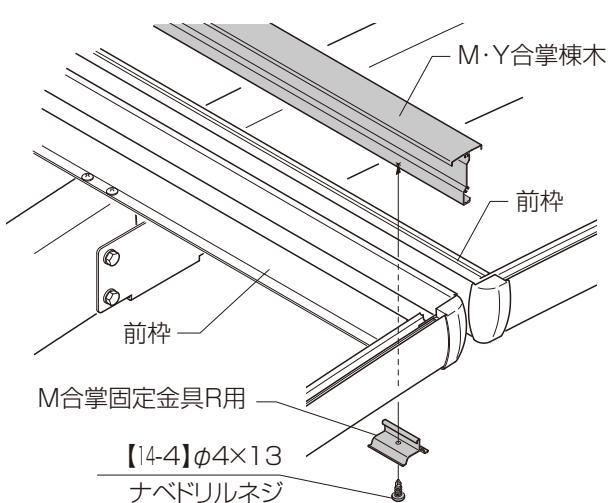
M合掌固定金具R用

### お願い

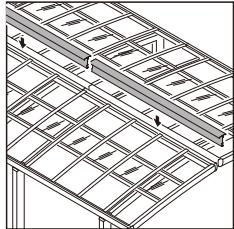
M合掌固定金具R用は図の位置に取付けてください。  
固定金具取付位置に梁がある場合は、ずらして取付けてください。  
段差を付けて施工する場合はAが均等になるように計算して取付けて  
ください。



サイズ (奥行)	A	取付個数
L22	1030	3
L29	1380	3
L36	1150	4
L43	1390	4
L50	1625	4
L54	1760	4
L57	1395	5



## □ 連結する場合



**【縦連棟】  
【14延長】** の場合の作業です。

**縦連棟** P.25  
P.25も事前に確認してください。

### 補足

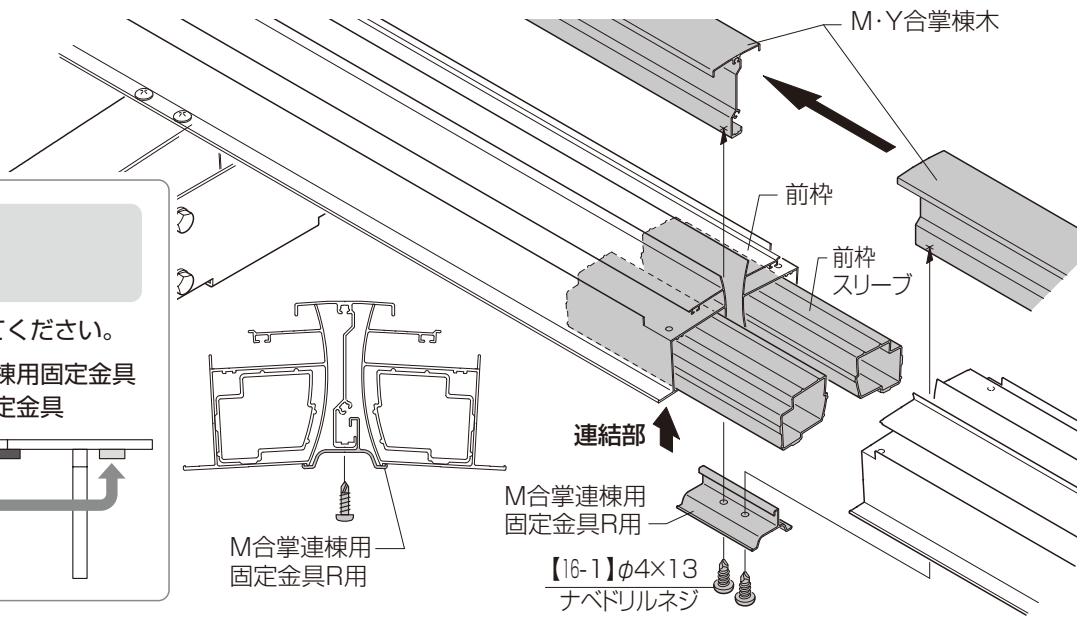
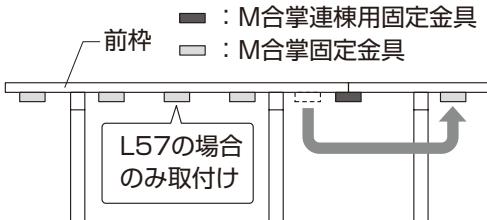
連棟部以外の取付は、「単独施工の場合」と同様です。

#### お願い

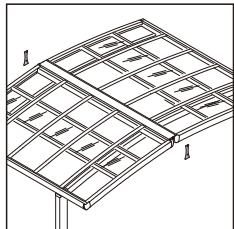


**【14延長】** の場合

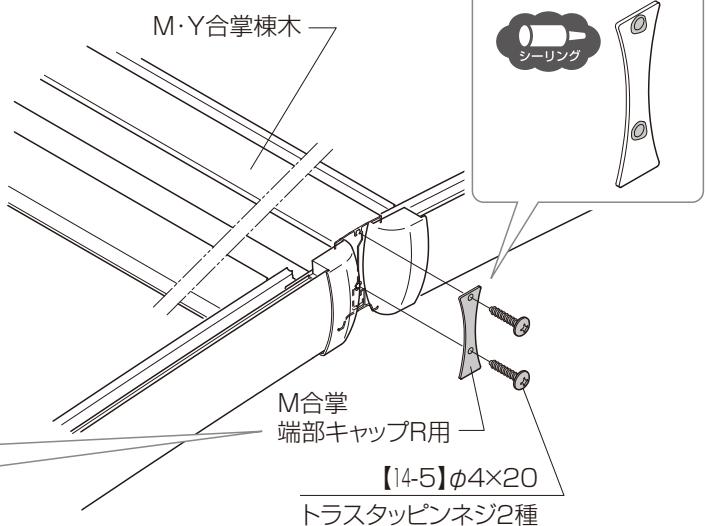
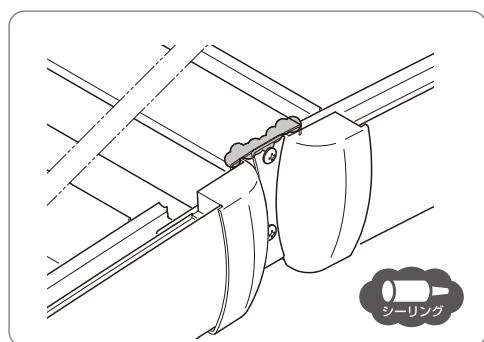
固定金具は図の位置に取付けてください。



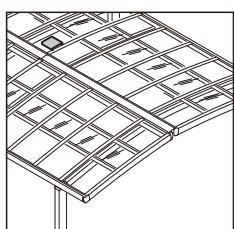
## 3 M合掌端部キャップの取付け



- ①M合掌端部キャップR用を【14-5】で取付けてください。
- ②M合掌端部キャップR用およびM・Y合掌棟木にシーリングしてください。

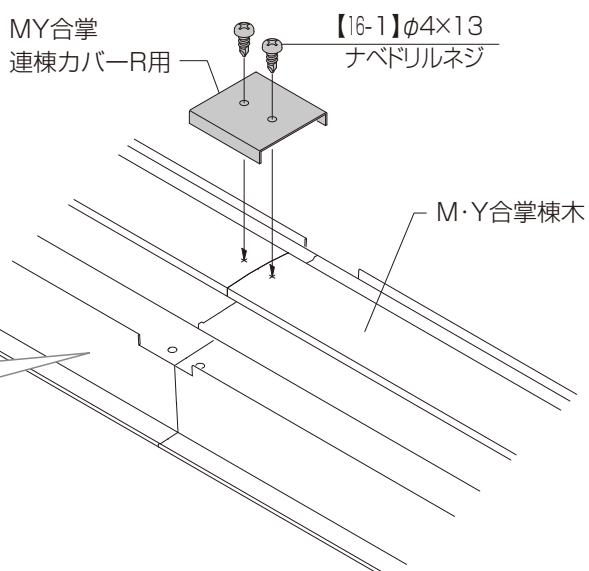
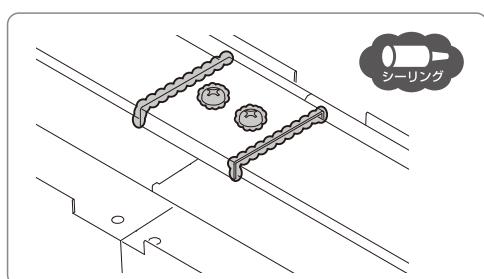


## 4 MY合掌連棟カバーの取付け



**【縦連棟】  
【14延長】** の場合の作業です。

- ①MY合掌連棟カバーR用をM・Y合掌棟木に【16-1】で取付けてください。
- ②MY合掌連棟カバーR用とネジ頭にシーリングしてください。



# Y合掌タイプの施工



【Y合掌】の場合の作業です。

## ■ Y合掌の確認事項

### □ 姿図

#### ▲ 注意



【柱移動】をした場合は  
柱芯々寸法±100mm以内で柱移動をしてください。



【柱内側移動】をした場合は片側  
300mm以内で柱移動をしてください。  
(W24~W30で施工可能です。)

### 補足

←印は【柱移動】範囲を示します。 ↘印は【柱内側移動】範囲を示します。(フーゴのみ)

#### 【ロング柱の場合】

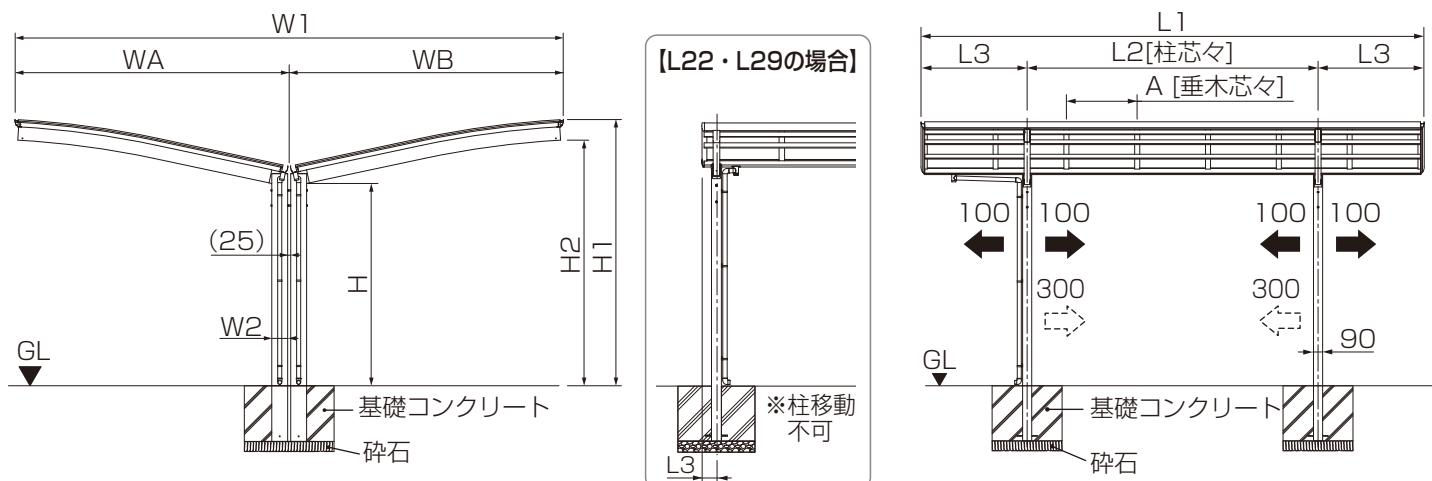
W18~W21=H寸法に+608してください。  
W24~W30=H寸法に+300してください。

#### 【H28柱の場合】

W18~W21=H寸法に+908してください。  
W24~W30=H寸法に+600してください。

### お願い

柱内の水が抜けるように  
必ず碎石を敷いてください。

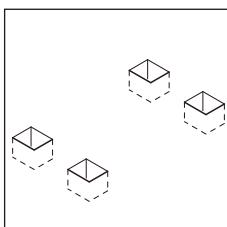


サイズ(間口)	W1	WA	WB	W2	H	H1	H2
ミニ	W18-18	3628	1814	1814	132	1903	2326
	W21-21	4228	2114	2114	132	1903	2390
レギュラー	W24-24	4826	2413	2413	157	2196	2768
	W25-25	5126	2563	2563	157	2196	2800
	W27-27	5426	2713	2713	157	2196	2832
	W30-30	6026	3013	3013	157	2196	2976
							2770

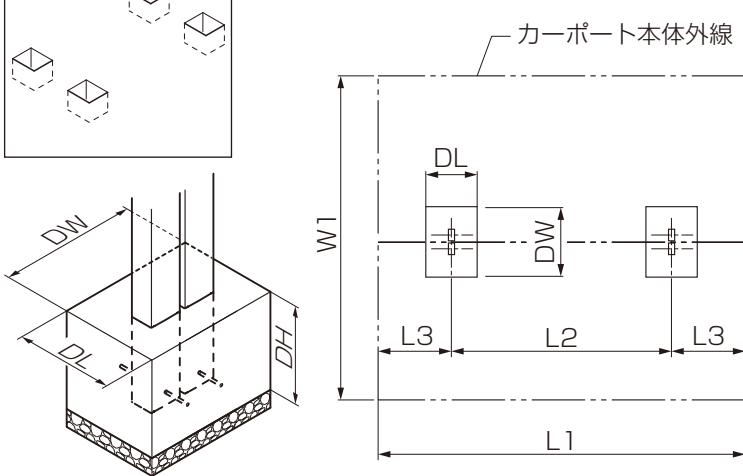
サイズ(奥行)	L1	L2	L3	A	
ミニ	L22	2156	1894	131	706
	L29	2862	2600	131	706
レギュラー	L36	3568	2100	734	706
	L43	4274	2500	887	706
ミニ/レギュラー	L50	4980	2900	1040	706
レギュラー	L54	5382	3100	1141	668
	L57	5686	3300	1193	706

※段違い合掌の場合の寸法はP.26を参照してください。

### □ 基礎の墨出し



①柱の埋込み位置を出して、基礎穴を掘ってください。



#### フーゴ

サイズ	独立基礎サイズ			土間コン基礎サイズ		
	DW	DL	DH	DW	DL	DH
W18-W18	800	500	500	600	300	500
W21-W21	800	550	500	600	300	500
W24-W24	1000	700	550	700	350	550
W25-W25	1000	700	550	700	350	550
W27-W27	1000	700	550	700	350	550
W30-W30	1200	700	550	700	450	550

#### ネスカ

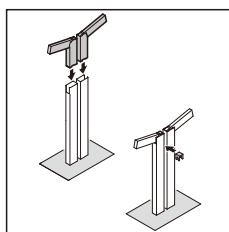
サイズ	独立基礎サイズ			土間コン基礎サイズ		
	DW	DL	DH	DW	DL	DH
W18-W18	700	400	500	500	300	500
W21-W21	700	400	500	500	300	500
W24-W24	800	600	550	600	300	550
W25-W25	800	600	550	600	300	550
W27-W27	800	600	550	600	300	550
W30-W30	900	700	550	600	300	550

※DW・DL中心位置が柱芯となります。

※間口違い連棟の場合は、大きい方のサイズの同間口合掌の基礎サイズと同様です。

# 1 合掌部の取付け

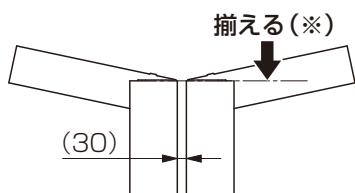
## 1 柱連結金具の取付け



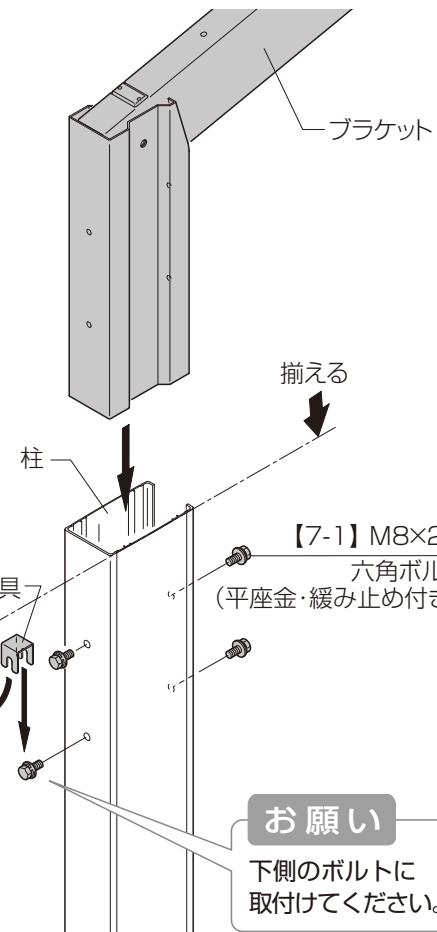
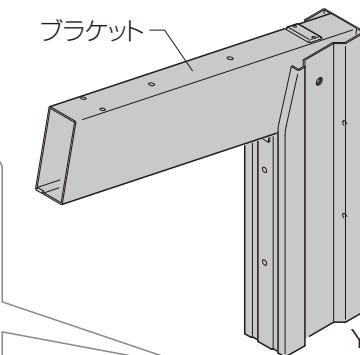
- ① ブラケットを柱に差込み【7-1】で固定してください。
- ② 合掌面側の【7-1】を軽く緩めてください。
- ③ Y合掌用柱連結金具を【7-1】のすき間に差込み、本固定してください。

### お願い

- ・柱と柱のすき間は約30mmにしてください。
- ・柱の上面は同一高さにしてください。



\* 間口違いでW30と連棟する場合、W30側の柱の上面を5mm高くしてください。



### 補足

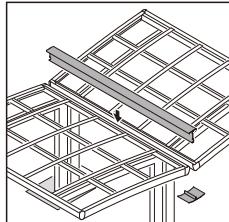
合掌部以外の取付は、「基本タイプの施工」を参照してください。

### お願い

下側のボルトに取付けてください。

# 2 合掌棟木の取付け

## □ 単独施工の場合

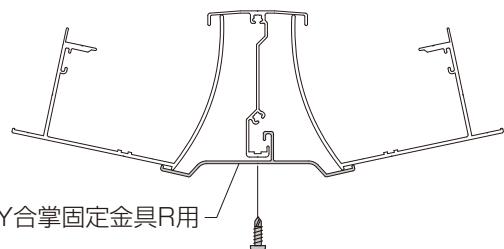


### 補足

「基本タイプの施工：9 垂木の取付け」の後に本手順を行なってください。

### お願い

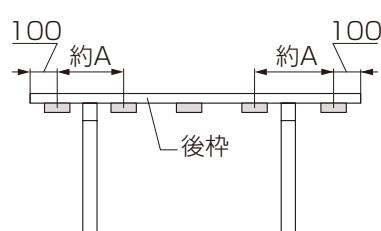
段差を付けて施工する場合はM・Y合掌棟木を段差寸法分切削してから取付けてください。



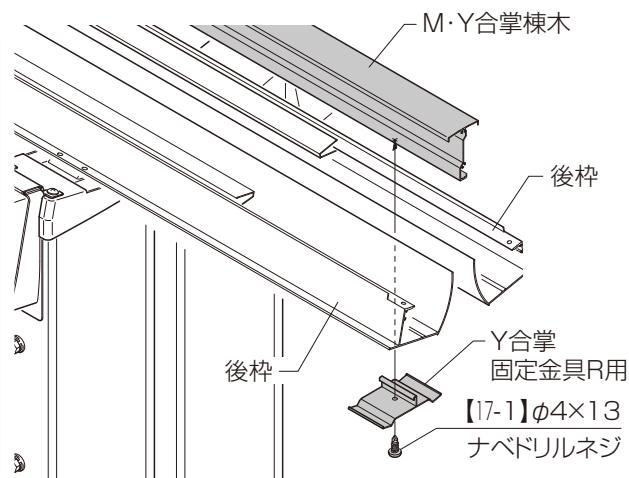
- ① M・Y合掌棟木を後枠と後枠の間に差し込んでください。
- ② Y合掌固定金具R用を勘合させて【17-1】で固定してください。

### お願い

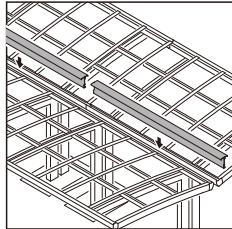
Y合掌固定金具R用は図の位置に取付けてください。  
固定金具取付位置に梁がある場合は、ずらして取付けてください。  
段差を付けて施工する場合はAが均等になるように計算して取付けてください。



サイズ (奥行)	A	取付個数
L22	1030	3
L29	1380	3
L36	1150	4
L43	1390	4
L50	1625	4
L54	1760	4
L57	1395	5



## □ 連結する場合



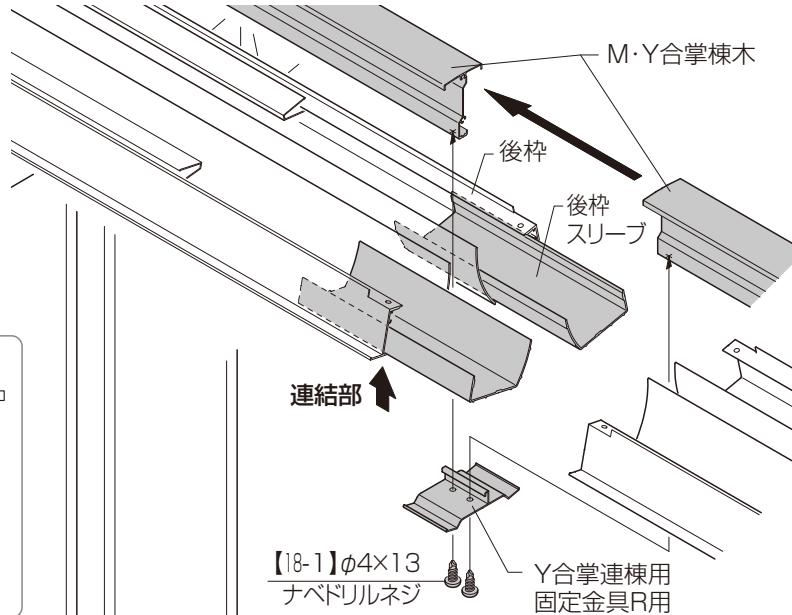
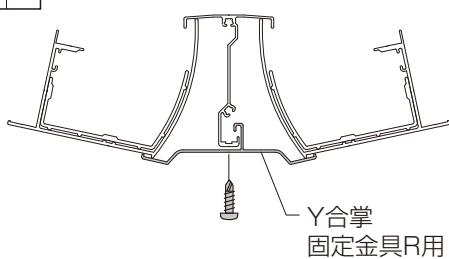
**【縦連棟】  
【14延長】** の場合の作業です。

**縦連棟** P.25  
P.25も事前に確認してください。

## 補足

連棟部以外の取付は、「単独施工の場合」と同様です。

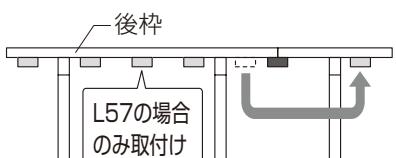
- ①後枠スリーブで後枠同士を連結してください。
- ②M・Y合掌棟木を後枠と後枠の間に乗せて、Y合掌連棟用固定金具R用と【18-1】で固定してください。



## お願い

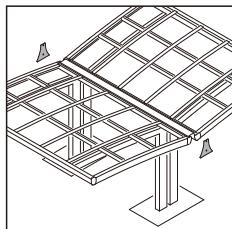
**【14延長】  
の場合**

固定金具は図の位置に取付けてください。

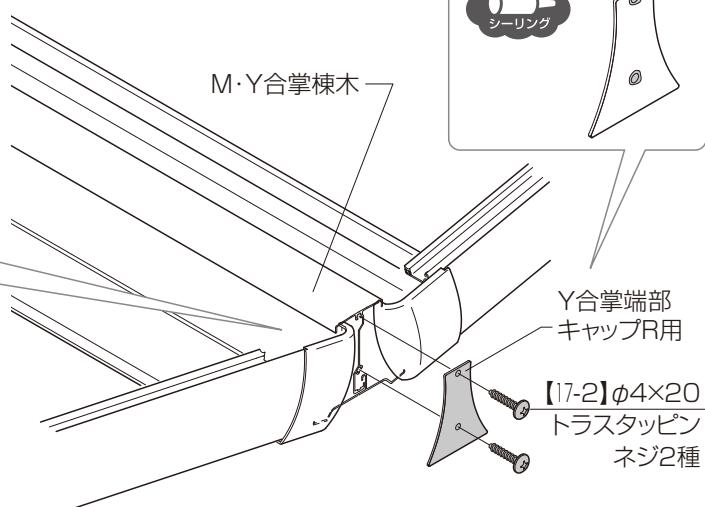
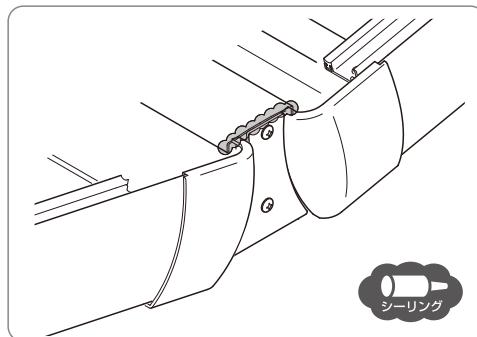


■ : Y合掌連棟用固定金具  
□ : Y合掌固定金具

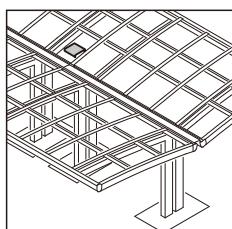
## 3 Y合掌端部キャップの取付け



- ①Y合掌端部キャップR用を【17-2】で取付けてください。
- ②Y合掌端部キャップR用およびM・Y合掌棟木にシーリングしてください。



## 4 MY合掌連棟カバーの取付け



**【縦連棟】  
【14延長】** の場合の作業です。

- ①MY合掌連棟カバーR用をM・Y合掌棟木に【18-1】で取付けてください。
- ②MY合掌連棟カバーR用とネジ頭にシーリングしてください。

